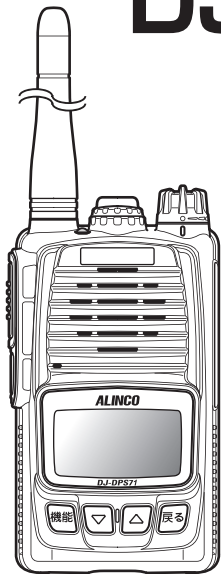
ALINCO

デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）
AMBE 方式 / Bluetooth　Module XE1126 内蔵
無線局種別コード：3R（登録局）

DJ-DPS71

取扱説明書

<注意>

・本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。
登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。
必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。
・音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™ 以外の無線機とは通話できません。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を充分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

アルインコ株式会社

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表　示	表示の意味
⚠ 危 険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害だけの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
🛇	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、もしくは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

下記について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、弊社は一切責を負いません。

- 天災、人災、弊社の責任以外の火災、製品使用者の違法、故意、過失、取扱説明書の記載を守らない事を含む誤用、その他異常な条件下での使用により生じた事故と損害
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて生じる付随的な損害、不利益（通信できなかったことで生じた損失や事業の中断など）
- 本製品の保証点検・修理を受ける際に発生する取り外し、取り付け費用
- 弊社が関与していない接続機器やソフトウエアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害
- 故障や修理のために喪失した個別の設定内容やチャンネルのデータ、表面に施された装飾やカスタマイズ用に使われた部品（ラベル類、圧着端子、ブラケット、ゴム足…）

⚠警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内の陸上と周辺海域のみです。上空、国外では使用できません。

電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院、介護・医療施設では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプション品や他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると電波法に違反します。

本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。

無線局の登録状の有効期限は 5 年です。登録状に不備がある場合や登録状を取得しない運用はしないでください。不法無線局となり、1 年以下の懲役または 100 万円以下の罰金を課せられることになります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

トランシーバーは調整済みです。このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。

直射日光があたる場所、車のヒーターの吹き出し口、調理台、ストーブなど高熱源の近くや温度が高くなる場所には絶対に放置しないでください。ケースや部品が変形・変色、発熱したり、火災の原因となることがあります。電池やマイクなどのアクセサリーも同様です。特にリチウムイオンバッテリーパックは 80℃を超えると発火の危険があります。

故意に水をかけたり、流水で洗ったり、マイクを外したままで使用したりしないでください。感電・故障の原因となります。外郭保護には条件があります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

本製品はガス及び発破現場の近くでは使わないでください。防爆仕様ではありません。静電気が発生して引火、爆発の危険性があります。

■充電器の取り扱いについて

AC アダプターは AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器や AC アダプターの刃に、ホコリが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。トラッキング現象による火災を防ぐため、コンセント周りは定期的に清掃してください。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を切って、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は法令により禁止されていますので、絶対におやめください。

■ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
■ 落としたり、ケースを破損したりしたとき
■ 内部に水や異物が入ったとき
■ AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

屋外での使用時に雷が鳴り出したら、急いで安全な場所に避難してください。充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いて、雷が止むまでお待ちください。なお、本製品は雷に対する保護や保証はいたしておりません。

■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。本機に内蔵されている Bluetooth　Module(XE1126) の分解、改造をすることは法律で禁止されています。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ホコリの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。

CH15 は通話チャンネルではありません。呼び出し専用です。
CH15 での話し方の例：
・「○ X さん、聞こえますか？」「はい」「CH20 に移ってください。」「了解です。」
・「呼び出しです、○ X さん、事務所にきてください」「了解です。」

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目にささないよう注意してください。

イヤホン / マイクロホン端子には指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

アンテナを持って本体を持ち運んだり、振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。

ベルトクリップは体の横または背中に装着して、イヤホンマイクのケーブルも余分な長さを束ねて固定してください。かがんだときにマイクプラグやアンテナにストレスが掛かったり、ケーブル類を引っ掛けたりすると故障の原因となります。

スピーカーやマイク穴をステッカーやラベルなどでふさがないでください。音を拾わなくなり、内蔵スピーカーが故障する原因となります。

スピーカーやマイク穴の防水クロスをはがしたり、別のシールをはらないでください。浸水や音質不良など故障の原因になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。

熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。美観上以外にトランシーバーを長く正常にお使いいただくために定期的な清掃は大変有効です。

■廃棄

廃局届を管轄の総合通信局に提出してください。
手続きや書類は総合通信局のホームページをご覧ください。
手続きをしないと電波利用料が請求される、譲渡した人の登録手続きができないなどのトラブルの原因となります。廃棄方法はラジオなどの小型家電と同じです。
バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■運転中の無線機の使用について

運転中に携帯型無線機を手に持って操作しないでください。このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。無線機の運用は必ず安全な場所に停車してから行ってください。ただし、スピーカーマイクでの通話は認められています。

外部に音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。

無線機をベルトクリップなどで体に装着して運転しないでください。アンテナや付属品が引っ掛かり、運転の支障となることがあります。そちらに注意を引かれると前方不注意の原因となります。

■外郭保護性能について

本機は設計段階で外郭保護等級 IP64/65/67/68 規格の耐塵防水試験に合格しており、適合するアクセサリー、アンテナ、バッテリーパックなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし防塵、防水試験には条件があり、完全な防水を保証するものではありません。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。また、外郭保護性能の有無にかかわらず無線機は汚れたり濡れたりしたときはすぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと長く正常な状態でお使いになれます。
保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じとさせていただきます。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。
耐久性能は米軍規格 MIL-810 の振動と衝撃規格で確認済です。衝撃は落下ではなく、急ブレーキや急発進時にかかる G(重力加速度) を想定した規格です。

- IP6X 耐塵：既定の条件下で塵やほこりが内部に入らないこと
- IPX4/5 耐飛沫・噴流：既定の条件の飛沫や噴流水を掛けても有害な影響が生じないこと
- IPX7 防浸：真水・静水に水深 1.0m の位置で 30 分間没しても有害な影響を生じないこと
- IPX8 防水：真水・静水に水深 1.5m の位置で 30 分間没しても有害な影響を生じないこと

■Bluetooth® について

本機に内蔵している Bluetooth Module(XE1126) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律でかたく禁じられています。

電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局)、特定小電力無線局（免許を要しない無線局)、アマチュア無線局が運用されています。

- 本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■本機の Bluetooth 機能の制限について

本機が Bluetooth 接続時、下記の運用はできません。

- デュアルオペレーション
- 接客機能の「タッチ」モード
- コールバック
- ノイズキャンセル

■2.4GHz 現品表示記号の意味について

「2.4」　：2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」　：FHSS 方式
「1」　　：想定干渉距離が 10 m以下
「---」　：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可

2.4FH1

Bluetooth の登録商標 / 著作権について

Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。なお、本文中では TM、® などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写 / 転用することは、禁止されています。

◆◆◆目　次◆◆◆

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を無断で使用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになれます。上空での使用は違法で罰せられます。規格の違いから、海外では使えません。
- 届け出た住所やお客様の名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。

■本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m 程度が目安) で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

■本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。

■本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性を保証するものではありません。

■本機は米国 DVSI 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation) 方式による音声圧縮技術を採用し AMBE+2™ を使用した他のデジタル簡易無線 (種別コード：3R) との互換性を確保していますが、AMBE+2™ 以外の音声圧縮技術 (RALCWI 方式など) を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form.
US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

■ Important
This product is permitted to use for business, leisure and hobby communications within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. A Radio-user fee will be charged annualy by a government agency. In case you change registered contact information such as address and name, you should report it to the authority. For any registration-related information, please contact your dealer or a regional Bureau of Telecommunications of the Ministry of General Affairs of Japan. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine and/or punishment.

◆◆◆ 機能と特徴 ◆◆◆

■改正電波法準拠で 2022 年 12 月 1 日以降も使えるデジタル方式（DCR-Digital Convenience Radio 3R）トランシーバーです。

■総務省技術基準適合品の Bluetooth Module (XE1126) を内蔵しています。本機の Bluetooth 機能は弊社製 Bluetooth アクセサリーにのみ対応します。

R 001-A15436

■業務でも、レジャーでも、目的を選ばず使えます。

■パワフルな５W 出力により、より広い通話エリアを確保できます。

■秘話通信により 32,767 通りから選べるコードが合致しないと通話ができない高い秘話性をもっています。また、弊社独自の強化秘話機能を使うことで、更に秘匿性を高めることができます。

■マイクや声で受信音量を小さくできる特許済の「接客モード」を採用しました。

■通常のユーザーコード通信に加えてグループ通信や相手を選択して通話することが可能な個別通信に対応しています。

■大音量 700mW のオーディオ出力、ベル、キーロック、子機間通話禁止、バッテリーセーブ、VOX、オートパワーオフ、各種ビープ音やマイク感度の設定など定番の機能はもれなく採用しました。

■録音機能やノイズキャンセルに加えて、音声ガイダンスや短縮キーなど無線機をより便利にお使いいただける多彩な機能を搭載しています。

■ほこりが多い環境や水回りの仕事に強い IP68 相当の耐塵防水仕様です。

1 お使いになる前に

付属品の確認

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

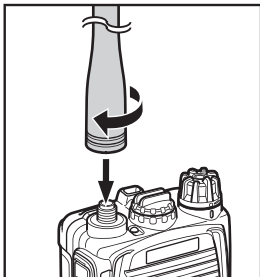
□本体	
□バッテリーパック	A 仕様：EBP-98(7.2V 2200mAh)
	B 仕様：EBP-99(7.2V 3200mAh)
□シングル充電スタンド	EDC-214R
□ AC アダプター	EDC-215
□ベルトクリップ（装着済）	EBC-46　ビス 2 本付
□ミドルアンテナ	EA-247
□取扱説明書（本書）	
□申請書類一式	
□保証書	

注意 保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。
記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。
購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

弊社純正、または弊社が認めたアクセサリー以外をご使用になって起きた不具合は製品保証の対象外です。アクセサリー専業メーカーの製品については、そのメーカーに直接お問い合わせください。
他社製品に起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

付属品の取付け方

■アンテナの取付け方

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。
外すときは反時計方向（左）に回します。

注意
- 市販されているアンテナ端子変換用コネクターには、この製品に適合しない形状のものがあります。
  変換コネクターが正しく接触しているか確認してからお使いください。
- 他社の無線機の付属品や最大出力が異なる無線機に付属するホイップアンテナを使うと、接触不良や耐入力の違いから発熱、送受信不良、故障の原因となる場合があります。

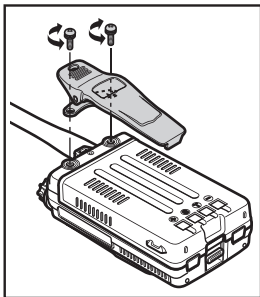
参考
■外部アンテナの接続
市販のデジタル簡易無線機用アンテナを接続することができます。
本体側のアンテナコネクターは SMA-J、アンテナ側が SMA-P 型です。
接続ケーブルや取付け金具を含めたアンテナのご購入は、無線機販売店にご相談ください。
標準付属品のホイップアンテナのスペアも販売店でお求めになれます。

注意
- 本機に接続できるアンテナは、本機の技術基準適合証明を受ける際にあらかじめ弊社が届け出をした形状と利得のアンテナに限られます。新しく発売される市販品には対応しない場合があります。アンテナについては弊社 HP の本機の製品紹介ページでご説明しています。

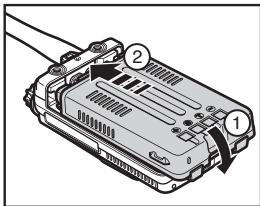
■ベルトクリップについて

ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回します。
(+ ドライバー No2 が必要です)

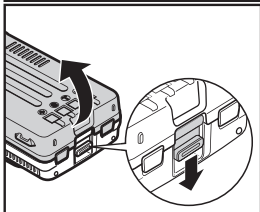
注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売していますので、販売店にご相談ください。
標準付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。絶対に規格以外のネジは使わないでください。(ネジ規格：M3 × 6mm)

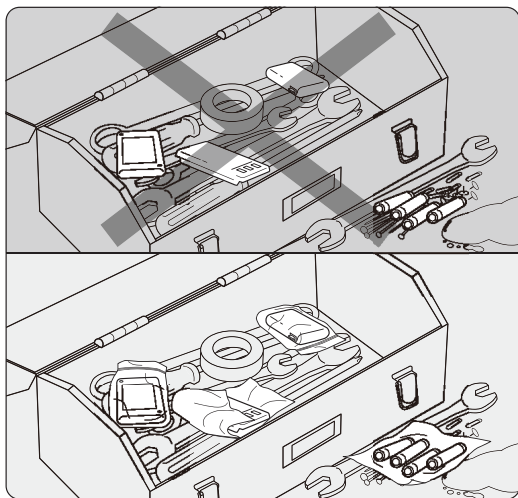
ベルトクリップ EBC-46
(ベルトクリップ 1 個、ネジ 2 本)

■バッテリーパックの取付け / 取外し

●バッテリーパックの取付け方

バッテリーパックを本体のツメに合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。
ロックレバーが固定されているか確認します。

●バッテリーパックの取外し方

本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取外します。

注意 スライドさせる際は、指やツメなどを傷めないよう、注意してください。

■電池類の持ち運びについて

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。
端子をショートさせせると大電流が流れて火災、火傷の原因になります。
1.5V の単三乾電池ですら数分程度で、90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。

- 金属製のもの（ネックレス、ブレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。真水や塩水は電気を通します。
- 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず 1 個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。補充電については別途充電器の項目でご説明しています。
- 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

■バッテリーパックの使用上の注意

次の注意事項を守らないと、発煙や発火の原因となります。

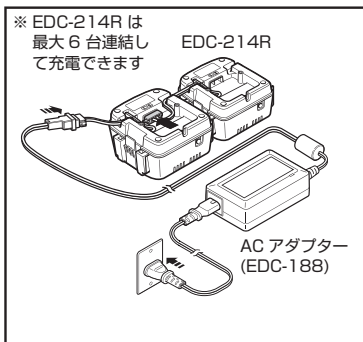
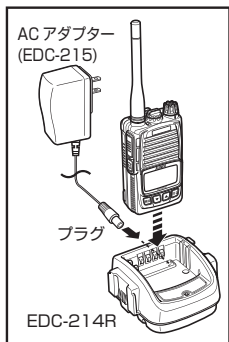
- 指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
  充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
- バッテリーパックは消耗品で、製品保証の対象ではありません。規定の時間充電しても使用時間が著しく短くなった場合は寿命です。リチウムイオンバッテリーはこの状態で使用をつづけると、発煙や発火のリスクがあります。
- リチウムイオンバッテリーは正しく使っても 3 年程度で劣化が進みます。無線機の性能を十分に活用するためにも、長くても 5 年以内に新しいバッテリーにご交換ください。
- 無線機本体の電源を入れた状態で、指定時間以上充電をしないでください。繰り返し行うことにより、発煙や発火の原因となります。

注意
- バッテリーパックは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後にフル充電してからご使用ください。
- 充電は 0℃～ +45℃の温度範囲内で行ってください。
- バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
- バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- 必要以上の長時間の充電 (過充電) はバッテリーの性能を低下させますのでおやめください。
- バッテリーパックの保存は、-10℃～ +45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
- バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

注意
- バッテリーパックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。
- 専用充電スタンドでしか充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源を入れたままでは正しく充電できず、バッテリーパックの劣化を早めることになります。
- 本機専用の AC アダプターと充電スタンド以外の使用は危険ですから絶対におやめください。

AC アダプター
(EDC-215)
プラグ
EDC-214R

※ EDC-214R は
最大 6 台連結し
て充電できます
EDC-214R
AC アダプター
(EDC-188)

(AC アダプターの形状は実物とは異なる場合があります。)

充電スタンドと AC アダプターを図のように接続してバッテリーパックを充電します。
充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EBP-98 は約 3 時間 /EBP-99 は約 4 時間です。充電時間は周囲の温度で変動します。充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は正常に充電が完了していません。無線機の電源が入っている場合は電源を切って充電するか、バッテリーパックを無線機から外してバッテリーパック単体で充電してください。
非常時の備蓄用等でバッテリーパックを装着した状態で長期保管するときは、週に一度は本体から外して液漏れや放電していないことを確かめてください。
待機電流のためバッテリーパックは徐々に放電します。

DJ-DPS50 をお使いの場合、既にお持ちの連結充電器 (EDC-196R と EDC-175) に EDC-214R を接続して本機の充電ができます。このとき、EDC-196R と EDC-214R は 4 台までしか接続できません。新しい AC アダプター (EDC-188) をお求めになれば、EDC-196R と EDC-214R は最多 6 台まで自由に組み合わせることができます。

※バッテリーパックに関する重要な説明です。このページは必ずお読みください。

注意
- 長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。(過充電)
- バッテリー及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。（この際に充電端子を変形させないようにご注意ください。）
- 弊社のバッテリーパックは対応する弊社製品専用です。市販や他社製の充電器やアダプターなどで充電すると故障や事故の原因となるので絶対に充電しないでください。
- 充電中、必ず本機の電源スイッチを切ってください。本機の電源が入ったままで充電すると、充電器の赤ランプが点滅し充電できないことがあります。
- バッテリーパックを夏の車内や窓際など、高温となる場所には絶対に放置しないでください。リチウムイオンバッテリーは火災の原因となるような高熱を発する性質があります。

参考
リチウムイオンバッテリーの保存で最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態です。長期保存するときは表示の電池マークが 1 目盛減っているのを目安にして、本体から外して乾いた冷暗所に保管してください。1 か月を目安に本体に装着して状態を確認、電池マークが空になったら 1 時間程度補充電してください。
リチウム系充電池は使用・保存状態にかかわらず、数年で劣化する性質を持っており、特に長期使用は発熱、発火の危険が高くなります。3年を目安、長くても 5 年以内に新品にご交換ください。古くなったものはショートを防ぐため金属端子にセロテープを貼ってから電池回収協力店の回収ボックスにお出しください。

重要 ■ EBP-98、EBP-99 は無線機に正しく装着された場合にのみ IP68 相当の耐塵防水保護が機能します。故障に直結するのでバッテリーパックだけの状態では、絶対に水に濡らさないでください。

2 本体の名称と動作

■本体

SP ／ MIC 端子 ※使用する際にはしっかりと奥までねじ込んでください。

アンテナ

インジケーター

電源／音量ツマミ

DCR-PRO

PTT キー

スピーカー

短縮キー

マイク

ALINCO

ディスプレイ

DJ-DPS71

機能

戻る

キーボード

ノイズマイク

名称	機　能
PTT キー	押すと送信します。離すと受信に戻ります。
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。(P.45)
インジケーター	緑点灯 : 受信中 赤点灯 : 送信中 水色点滅 : 短縮キーで音量固定中 赤色・緑色の交互点滅 ：ペアリングモード 白フラッシュ : 緊急通報送信または受信 黄フラッシュ : 電池電圧低下 紫フラッシュ : イヤホン断線検出 青フラッシュ : 呼び出しあり (ベル機能動作時) ／未読メッセージあり

名称		機　能
キーボード	機能キー	押すとセットモードになります。 項目の設定にも使います。 長押しでペアリングモードになります。
	戻るキー	セットモードの操作に使います。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。 長押しでキーロック設定 / 解除ができます。
	▼／▲キー	チャンネル番号、各設定項目の UP/DOWN

■本機の初期状態と Bluetooth マイクの接続について

DJ-DPS71 は弊社製の別売 Bluetooth マイクを使用することを前提に設計されています。このため、本機の電源を入れるとすぐにペアリングモードとなりインジケーターが赤と緑に点滅を始めます。

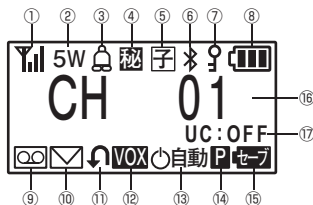
- 本体内蔵、または有線式マイク類をお使いになるときは以下の操作をしてください。

電源 / 音量ツマミを時計方向に回して電源を入れ、起動ビープ音が鳴るまで待ちます。

1. 「機能」キーを押して [セットモード] を表示させる。
2. ▼キーを押して「各種動作設定」を選択する。（バックが濃い色になる）
3. 「機能」キーを押して [各種動作設定] メニューにする。
4. ▼キーを押して「Bluetooth」を選択する。
5. 「機能」キーを押して [Bluetooth] メニューにする。
6. ▼ / ▲いずれかのキーを押してオン表示をオフに変える。
7. 「PTT」キー（本体左横の大きいほうのキー）を押して待ち受け画面に戻る。

Bluetooth アイコンとインジケーターの赤緑点滅が消えたことを確認してください。

- Bluetooth マイクとの接続は P.36 の Bluetooth 機能で説明しています。
  初めて本機をお使いの時は、接続される前にご理解いただきたい基本操作の説明がありますので、引き続き本書をお読みください。

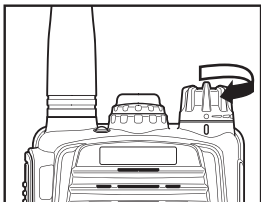
■ディスプレイ表示

説明		
①	(アンテナ)	受信した電波のレベルに応じて四段階に点灯します。送信時には別の送信アイコンが表示されます。
②	5W	送信出力レベルを表示します。(P.68)
③	(ベル)	着信があったことを知らせるベル機能設定時に点灯します。(P.71)
④	秘	秘話通信設定時に点灯します。(P.39)
⑤	子	子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。(P.46)
⑥	(Bluetooth)	Bluetooth 設定時に点灯します。(P.36)
⑦	(鍵)	キーロック動作時に 4 段階で点灯します。(P.38)
⑧	(電池)	バッテリー残量を表示します。
⑨	(録音)	未聴の録音データがあるときに点灯します。
⑩	(封筒)	未読のショートメッセージがあるときに点灯します。
⑪	(コールバック)	コールバック機能設定時に点灯します。(P.69)
⑫	VOX	VOX 機能設定時に点灯します。(P.50)
⑬	自動	オートパワーオフ機能設定時に点灯します。(P.75)
⑭	P	プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。(P.40)
⑮	セーブ	バッテリーセーブ機能設定時に点灯します。(P.75)
⑯	CH 01	送信･受信チャンネル番号（周波数）や各設定内容を表示します。
⑰	UC:OFF	ユーザーコードや自局 ID、グループを表示します。

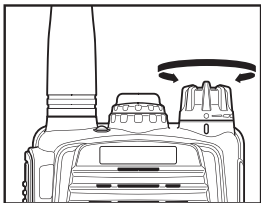
注意 ・セットモード「S メーター表示」(P.74) をオンに設定すると①は受信時に一番左のアンテナマークのみ表示されるようになります。また、⑨〜⑬のアイコンは表示されなくなります。

3 基本操作

■電源を入れる

電源 / 音量ツマミを時計方向にカチッと回して電源を入れます。

参考
・キー操作の表記について本書の説明で「押します」とはキーを押した後すぐに離すことを指します。「約○秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。

■音量を調整する

電源を入れてからツマミを回すと音量が調整できます。時計方向で大きくなり、反対に回すと小さくなります。音声ガイドでレベルを案内するので、この音声を目安に適切な音量に調整してください。イヤホン使用時はボリュームを最小にしておいて、ゆっくりボリュームを上げてください。

■チャンネルを合わせる

待受画面で「▼ / ▲」キーを押しCH01 ～ CH30 の中から交信相手と同じチャンネルを選択します。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切替わります。

5W
CH 01
UC:OFF

注意 ・CH15 は呼び出し専用、CH26 ～ 30 はデータ通信での使用が推奨されています。新たに通話チャンネルを設定するときはご注意ください。

■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。個別通信のときは相手局の個別 ID が表示されます。

重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品はノイズが発生して、受信障害になることがあります。
*LED 照明　*IH 式調理器具　* ソーラー発電装置
*DC-AC インバーターなどの車載機器

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信します。
「PTT」キーを押したままで、マイクに向かって話します。マイクと口元は 5cm ほど離してください。
「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。

「PTT」キーを押してすぐ話すと初めの部分が伝わらない「頭切れ」が起こります。「PTT」キーを押すと鳴るピ音が終わってから話してください。

重要
- マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると歪み、声が小さいと相手が聞き取れなくなりますのでご注意ください。
- 本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用したときと外部マイク等のアクセサリーを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- マイク穴をステッカーやラベルを貼ったり、手や指でふさがないでください。声を拾わなくなります。

■初めてお使いになる前に

本機は使い始めの手間を省くために 3 つの機能を採用しています。

① ACSH(アクシュ Auto Connect Shake Hands)
既に登録局を使用していて、買い増しした本機を同じ環境で使うときにお勧めする機能です。簡単な操作でお使いのチャンネルとユーザーコードを探知して自動設定します。複数でも一度に設定できます。
３R 登録局であれば他社製でも ACSH しますが個別呼び出しと秘話が設定されていると機能しません。

詳しい操作は本書 P.55 をお読みください。

② エアクローン
DJ-DPS71 だけで新しい通話グループを作るとき、1 台だけ設定を済ませれば、残りは簡単な操作ですべてを一度にまとめて無線でクローンできます。
DJ-DPS71 どうしでないとお使いになれませんが、ACSH がチャンネルとユーザーコードだけなのに対し、エアクローンはセットモードでカスタマイズした内容まで自動設定します。個別呼び出しや秘話設定もクローンします。
エアクローンは、誤操作などで通話できなくなった個体を復旧するのに一番簡単な方法でもあります。

クローンのもとになるマスター機を作るため、引き続き本書をお読みください。エアクローンの操作方法は P.53 でご説明しています。

③ PC 編集ソフト
別売のパソコン接続用ケーブル ERW-23 をお求めになれば、弊社が無償配布する PC ソフト「クローンユティリティ」を使って本機の設定と設定データの保存、編集、書き込みができます。ショートメッセージの内容の変更、チャンネル番号表示のカスタマイズ、リセットの禁止など、本体だけではできない操作も可能になります。
設定データの管理ができるので、多数の無線機を使用する法人ユーザーにぜひお使いいただきたい機能です。

詳しくは弊社電子事業部 HP の「ダウンロード」から「業務用無線機 (簡易無線・デジタルトランシーバー)」の項目をご覧ください。

4 通信前のご注意

全てのデジタル簡易無線登録局には電波法に基づく下記の制限が設けられています。

キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、表示と音で警告し、送信できなくする機能です。ディスプレイに「CH 使用中」と表示されます。
先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。

・各種の選択通話設定（ユーザー･個別･秘話など）がされているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、キャリアセンスに気づかないことがあります。アンテナアイコンが表示されているときは声が出ていなくても先に通話中の人が居ると判断できます。

送信時間制限装置

1回の送信で連続して送信できる時間は、「5 分以内」と電波法で定められています。
連続した送信が 5 分を超えると自動的に送信を停止し、停止後 1 分間は送信できなくなります。応答する前に 3 秒以上の間を取るとこのタイマーはリセットされます。
チャンネルの独占や無駄な長話を防いでなるべく多くの人がチャンネルを共有して使えるようにするために設けられています。
送信時間制限が働く前に警告音を鳴らすことができます。(P.72)
また、送信残り 3 分前からディスプレイに残り送信時間を表示します。

通信の互換性について

本機は音声圧縮方式 AMBE + 2™ を採用した他社製の DCR 無線機と基本の音声通信 (ユーザーコード・デジタル秘話通信を含む) はできますが、RALCWI 方式の無線機とは通話できません。AMBE 方式を採用する弊社製 DCR 同士では、機種が異なっても個別通信などの各種通信機能は共通で使えるように設定されています。

5 通信方法

本機で使用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

重要 本機の基本操作

P.60 のセットモードの項目に、本機が持つ機能のカスタマイズ方法が記載されています。次の項目以降、「セットモードで○○を設定します」という説明がひんぱんに出てきますが、全てこの操作が基本になるので、ここで使い方を憶えてください。以降、機能キーを押してセットモードに入ります、のような長い説明は省略します。

①電源を入れ、通話したいチャンネルに合わせます。
②機能キーを押します。「セットモード」が表示されます。
「▼／▲」キーを押して「○○設定」「○○機能」のようなメニューを選びます。
③もう一度「機能」キーを押すとサブメニュー画面になります。
もう一度「機能」キーを押すとその項目の設定値や機能の選択ができる設定画面になります。
④「▼／▲」キーで設定を切り替えます。項目によっては「機能」キーを押すこともあります。
そのようなときは画面に「変更」や「桁移動」のように説明が表示されます。
⑤「戻る」キーを押すと新しい設定を保持して、ひとつ前の画面に戻ります。
「ＰＴＴ」キーを押すと確定して待受画面に戻ります。

※次のユーザーコードの手順を読みながら、この基本操作に慣れてください。セットモードに項目がない場合は「拡張セットモード」がオフになっています。
P.62 の説明に従い拡張セットモードをオンにしてください。

ユーザーコード通信

通話チャンネルがユーザーごとに指定されない登録局では、他人の通話が聞こえる混信が必然的に起こります。この混信が聞こえないようフィルターするのがユーザーコード（UC）です。単にコードが合わない音声を鳴らさないだけで、秘話や混信自体をなくす機能ではありません。ユーザーコード設定していないトランシーバーではすべての通話が聞こえます。ユーザーコードはセットモード「ユーザーコードの設定」でオフ、001 ～ 511 の中から選べます。通話したいグループのメンバー全員に同じ番号を設定してください。

参考 ユーザーコードとは特定小電力トランシーバーの「グループトーク」、業務やアマチュア無線の「トーンスケルチ」と似た機能です。初期状態では設定したユーザーコードは呼び出し用のＣＨ１５を除く全てのチャンネルに共通して登録されますが、セットモードで各チャンネルに個別に割り当てることもできます。

■ユーザーコード通信の手順

①チャンネルを合わせます。
②「機能」キーを押します。「▼／▲」キーを押して「通信設定」を選びます。
③もう一度「機能」キーを押して「ユーザーコード」を選びます。もう一度「機能」キーを押すと図のような表示になり、３桁のコードが選べます。

[ユーザーコード]
001
ー機能ー ｜｜ ー▼▲ー
桁移動 ｜｜ 変更

④「機能」キーを押すと桁が変えられます。「▼／▲」キーで好みの数字に合わせます。
⑤「戻る」キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。「ＰＴＴ」キーを押すと確定して通信画面に戻ります。ＵＣと設定したコードが運用画面に表示されます。
⑥ユーザーコード画面で 000 とするとオフが表示され、ユーザーコード通信をしなくなり、ＵＣ：ＯＦＦが運用画面に表示されます。
「戻る」キー長押しでもオフにできます。

注意 ユーザーコード通信と個別通信では通話できません、どちらかの通話方式に統一してお使いください。
設定しやすい 001 と 511 は多用されがちで混信が起きやすくなります。これらは避けて設定してください。

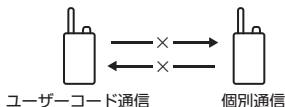
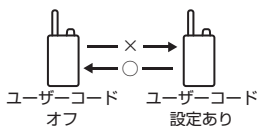
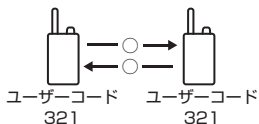
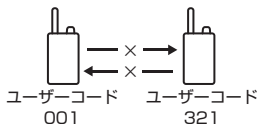
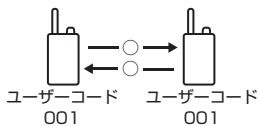
ユーザーコード通信 ×→ ←× 個別通信

ユーザーコード通信

ユーザーコード 001 ―○→ ユーザーコード 001
ユーザーコード 001 ←○― ユーザーコード 001

ユーザーコード 001 ―×→ ユーザーコード 321
ユーザーコード 001 ←×― ユーザーコード 321

ユーザーコード 321 ―○→ ユーザーコード 321
ユーザーコード 321 ←○― ユーザーコード 321

ユーザーコード オフ ―×→ ユーザーコード 設定あり
ユーザーコード オフ ←○― ユーザーコード 設定あり

個別通信

セットモードの「個別設定」→「個別通信動作」でオンを選択しているとき、この通信方式になります。
個別通信では、ユーザーコードが一致している複数の交信相手を個人 ID、グループ、全員のように指定して呼び出すことができます。

参考 全員のユーザーコードがオフになっていても個別通信はできますが、前述のように便利な混信フィルター機能なので、ユーザーコードは設定してお使いになることをお勧めしています。

■個別通信の設定

①チャンネルを合わせます。
② P.29 の説明に従いユーザーコードを設定します。
③セットモード「個別設定」の「個別通信動作」をオンにします。
④同じセットモードの「自局ＩＤ」を選び、自分のＩＤ番号を登録します。
⑤同じセットモードの「自局グループ」を選び、自分のグループ番号を登録します。
⑥同じセットモードの「通信相手選択」で通信相手を選択します。
⑦待受画面で「戻る」キーを押すことで個別、グループ、全局の順に通信相手を切り替えます。

［個別通信動作］
オン
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

この手順を繰り返して、ユーザー全員の無線機のＩＤとグループ番号を登録します。

※設定方法は P.64 にも記載があります。弊社 HP からダウンロードできる無償の編集ソフトウエア (Clone Utility) を使ってユーザーコードや個別通信の ID 設定ができます。別売の PC 接続ケーブル ERW- ２３が必要です。

参考

・セットモード「個別設定」の「▼ / ▲キー動作」で「通信相手選択」を設定すると待受画面で「▼ / ▲」キーを押して相手局を選択できます。(P.66) チャンネルを固定して使用する場合に便利です。
・個別通信で呼び出されると、呼び出した人に応答するため一時的に普段と違う呼び出し状態になります。セットモードの「個別呼出切替」「グループ呼出切替」「全局呼出切替」で、通話が終わってから何秒後に通常の状態に戻るかを設定できます。(P.65)

注意 セットモード「表示設定」の「周波数表示」をオンに設定している場合「▼ / ▲キー動作」で「通信相手選択」を選択しても通信相手の変更ができません。

■個別 ID 表示のとき

セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で選択した個別 ID の無線機を呼び出せます。

- 最大で 200 の個別 ID が設定できます。
- 同じ個別 ID を複数の人に割り当てることもできます。
  この場合はグループ呼び出しのように同じ個別 ID の人全員をまとめて呼び出します。

5W
CH01−004
ID:001 G:01 UC:OFF
相手局の個別 ID

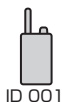
<例>
ID 番号 004 の人を呼びたいとき

ID 001
ID 004

グループ 1
ID 002 ID 003

グループ 2
ID 004 ID 005

グループ 3
ID 006 ID 007

グループ 4
ID 008 ID 009

■グループ表示のとき

セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で選択したグループの無線機を呼び出せます。

G01 ～ G10 の 10 組、設定できます。

5W
CH01–G03
ID:001 G:01 UC:OFF

グループ番号

<例>
グループ 3 番のメンバーを呼びたいとき

ID 001
グループ3

グループ 1
ID 002 ID 003

グループ 2
ID 004 ID 005

グループ 3
ID 006 ID 007

グループ 4
ID 008 ID 009

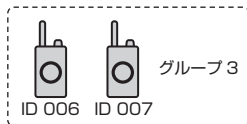
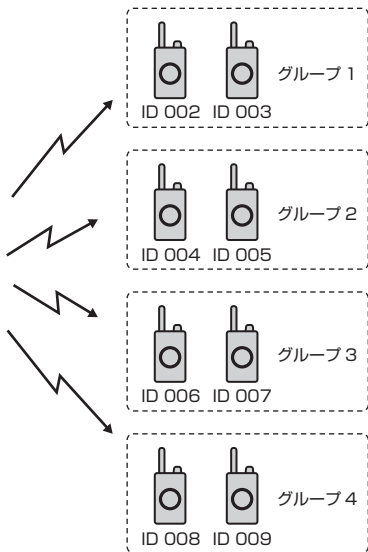
■全局表示のとき

全員を呼び出せます。

5W
CH01ー全局
ID:001 G:01 UC:OFF

＜例＞
全員を呼びたいとき

ID 001
全局

ID 002 ID 003 グループ 1
ID 004 ID 005 グループ 2
ID 006 ID 007 グループ 3
ID 008 ID 009 グループ 4

6 便利な機能

Bluetooth 機能

本機は、最大 8 台までの弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーを登録できます。複数のアクセサリーを登録するときは、正しく動作することを確認しながら 1 台ずつ個別に行ってください。他社製の Bluetooth 対応イヤホン、イヤホンマイク類はペアリングできません。

■Bluetooth 対応イヤホンマイク、スピーカーマイク

本機の Bluetooth 機能に対応するマイクを使って通話ができます。

- Bluetooth の通信範囲は約 10m（目安）です。マイクの電波が本機に届く範囲は通話できるので、使用者が移動することが無い用途であれば本機を体から外して、机の上に置くなどすると通話エリアが広がる場合があります。
- 登録台数が 8 台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
- 下記の機能は Bluetooth に接続していると使えません。Bluetooth の設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。
  - デュアルオペレーション
  - 接客モードのタッチモード
  - コールバック
  - ノイズキャンセル

■ペアリング方法

ペアリングとは Bluetooth 対応アクセサリー（本項目中、以下アクセサリー）と本機をお互いに登録し、接続をする操作のことです。

【ご注意】
- 複数の Bluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリーを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリーだけになるように、使っていない Bluetooth 機器の電源を切るか、それらの機器からはなれてください。
- リセットすると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらためて登録したい機器とペアリングしてください。
- 8 台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。

操作を始める前に、それぞれの機器を充電して電源が切れないようにします。イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

1. DJ-DPS71 の Bluetooth 機能をオンにしてペアリングモードにする（初めてお使いの時は電源を入れるだけで、この項目の操作は不要です。）

① セットモード「各種動作設定」の「Bluetooth」を選択、「機能」キーを押します。
②「▼ / ▲」を押して､「オン」に設定します。Bluetooth 機能がオンになっていると、待受画面に ✱ が表示されます。
③ 待受画面で「機能」キーを約 5 秒間長押しすると、インジケーターが赤と緑の交互点滅し、ペアリングモードになります。

2. アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。
① インジケーターがオレンジ色に点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
②「ペアリング中です」と音声が聞こえ、インジケーターが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手をはなします。
※ 弊社製のアクセサリーを初めてご使用になるときは電源を入れるだけでペアリングモードになります。
※ ペアリングできる無線機が見つからない状態が５分つづくと、電源が切れます。

3. DJ-DPS71 とアクセサリーをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら本機の Bluetooth アイコンが ✱ から ✱ に変わります。

参考

ペアリング後の動作について

一度ペアリングしたアクセサリーとは、それ以降毎回ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

- 無線機の Bluetooth 機能が「オン」
- 無線機が待ち受け状態
- アクセサリーが「オン」

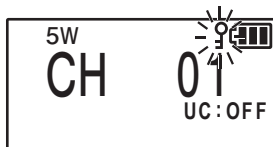
注意

Bluetooth の通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。

- 電子レンジなど
- 無線 LAN
- 他の Bluetooth 機器

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。また、Bluetooth 機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。「戻る」キーを 0.5 秒以上押すとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。キーロック時、「PTT」キー、「短縮」キーの一部、「緊急通報機能」、電源の入 / 切の操作のみが可能です。キーロックを解除するときはもう一度「戻る」キーを 0.5 秒以上押して「鍵アイコン」を消してください。

モニター機能

「短縮」キーにモニター機能を設定している場合、「短縮」キーを押している間、設定したユーザーコードに関わらず音声をモニターする機能です。

注意 秘話通信を設定している信号をモニターしても「ギャラギャラ」とノイズのような音が鳴り続け通話内容を聞き取ることはできません。
モニター動作中に出るザーという音は時々途切れることがあります。イヤホンやスピーカーの接触不良と誤解することがありますが、異常ではありません。

バッテリーレベルアイコン

本機のディスプレイに表示されるバッテリーアイコンは、バッテリーの残量を示します。バッテリーアイコンの中身が空になっているときは、バッテリーパックを交換するか、充電してください。

5W
CH 01
UC:OFF

- バッテリー残量が十分にあります。
- バッテリー残量が少し減りました。バッテリー保管に適したレベルです。
- バッテリー残量が減っています。充電をおすすめします。
- バッテリー残量が少なくなっています。すぐに充電してください。

秘話通信

秘話コードの一致した無線機間でのみ交信できる機能です。セットモード「通信設定」の「秘話コード」で 32,767 通りの秘話コードをお使いいただけます。

[秘話コード]
12345
ー機能ー ｜ ー▼▲ー
桁移動 ｜ 変更

注意 秘話コードが一致しないときは「ギャラギャラ」とノイズの様な音が鳴り続けます。

強化秘話通信

セットモード「通信設定」の「秘話タイプ」で設定します。秘話コード設定で秘話通信が設定されている場合に秘話タイプから強化秘話を選択することで秘話通信機能を強化して秘匿性を高める機能です。通常の秘話コード 32,767 通りとは別に 15 通りの秘話タイプを追加することで、491,505 通りの秘話コードとなります。

[秘話タイプ]
強化秘話○○
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

通常の秘話と強化秘話の両方のコードが一致しないと通話できません。

注意
- 標準秘話 32,767 通りは同じ番号に設定すると他社製の無線機とも通話できますが、弊社独自の強化秘話を設定すると他社製とは通話できません。
- 強化秘話は弊社製の対応する登録局間でのみ通話できます。

呼び出し用チャンネル CH15

CH15 は呼び出し用チャンネルとなっており、ユーザーコード通信・個別通信・秘話通信、ショートメッセージなど特殊な通信は設定できません。このチャンネルは呼び出し用チャンネルですので通話相手を呼び出した後は別のチャンネルに移ってから通話してください。

プライベートチャンネル機能

よく使う CH 番号を登録して、「短縮」キーを押すだけで呼び出せるようにする機能です。
セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」を「プライベート CH」に設定し、同じセットモードの「プライベート CH 設定」にてよく使うチャンネル番号を登録します。
「短縮」キーを長押しすると設定されたプライベートチャンネルに移行します。(このときディスプレイにアイコン Pが点灯します) もう一度「短縮」キーを長押しすると元のチャンネルに戻ります。

5W
呼出 15
UC:OFF
P

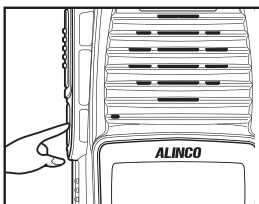
スキャン機能

自動的にチャンネルを切り替えて通話の行われているチャンネルを探すことをスキャンと呼びます。セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」でスキャンを設定しているときに、「短縮」キーを長押しするとスキャンを開始します。
信号を受信するとスキャンは自動的に止まり、同じセットモードの「スキャンタイプ」で設定した条件で再開します。
スキャン方向は「▼／▲」キーで変更できます。スキャン中は画面右下にスキャンと表示されます。
同じセットモードの「スキャン CH 設定」でチャンネルごとにスキャンまたはスキップの設定ができます。

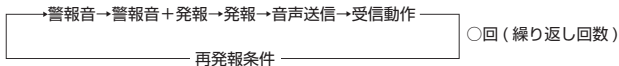
5W
CH 01
UC:OFF
スキャン

緊急通報機能

緊急事態が発生したことを、キーを押すだけで発報する機能です。送信側はセットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」で緊急を設定します。通報を受信させたい個体は拡張セットモード「緊急動作設定」の「受信の許可禁止」で許可を選択します。「短縮」キーを約３秒押すと送信側、受信側ともアラーム音がなり、個別通信時は送信側の ID が表示されます。自分はもう一度「短縮」キーを約３秒、相手は「PTT」キーを押すことでアラームが止まり表示が通常待受画面に戻ります。

ALINCO

緊急動作

緊急通報機能のカスタマイズをすることができます。通常の緊急動作は自身の警報音と通信相手へ発報の 30 秒の動作ですが、拡張セットモード「緊急動作設定」でより細かな設定が可能です。下記のサイクルで動作をします。

→警報音→警報音＋発報→発報→音声送信→受信動作 ○回 (繰り返し回数)
再発報条件

警報音のみ　…自身で警報音を鳴らす
警報音＋発報 …自身と通信相手の警報を鳴らす
発報のみ　　…自身は鳴らさずに通信相手のみ警報を鳴らす
音声送信　　…周囲の音声を送信する
受信動作　　…相手からの音声を受信する
繰り返し回数 …指定した動作を繰り返す回数
再発報条件　…再発報するときの条件

動作させたい項目以外はオフにしておきます。

ショックセンサー機能

本体が傾きまたは衝撃を検知した際に前ページで設定した緊急警報（動作）を行います。拡張セットモード「ショックセンサー機能」の「動作モード」よりオフ、転倒検出モード、振動検出モードから選択します。振動検出モードではその画面で｢短縮｣キーを押すと 10 秒後に動作開始します。動作モードを設定した状態の無線機に対して、遠隔操作で動作開始させることもできます。

転倒検出モード：
本機に傾きが検出された場合に緊急動作をします。
セットモード｢ショックセンサー機能｣の｢検出方向｣にてどの方向への傾き、同じセットモードの「傾斜判定角度」にてどの程度の傾きで動作させるかの設定ができます。

有効にした軸に一定の加速度 (G) を感じるとセンサーが反応します。
無線機を立てて使う場合は「前後＋左右」が適しています。上下方向には常に重力加速度が掛かることになるので、上下の軸を有効にすると、反応し続けることになるためです。
無線機を寝かせて使う場合は「上下＋左右」が適しています。

振動検出モード：
本機に衝撃が検出された場合に緊急動作をします。
同じセットモードの「衝撃判定強度」にてどの程度の衝撃で動作させるかの設定ができます。

注意
- これらのセンサー機能の精度は保証していません。個体による感度のばらつきもございます。あくまで目安としてお使いください。
- 実用される前に十分実験して、誤報など無いようにお使いの用途に最適であることを確認してください。

参考 仲間から見えない場所で一人で危険作業をするような場合に設定すると、転倒して動けなくなったり、高所からの落下など大きな衝撃を受けたりしたことを自動で発報できます。

・・・・・・・・・・・・・ 通話録音機能 ・・・・・・・・・・・・・

拡張セットモード「録音機能」を P.66 にしたがって「録音動作設定」と「録音停止時間」を設定します。
「録音動作設定」で設定した送信または受信したときに録音が開始されます。送信または受信が停止して「録音停止時間」で設定した時間が経過すると録音が停止されます。
同じセットモードの「録音データ一覧」で「▼／▲」キーで再生したい録音データを選び「機能」キーを押すことで再生することができます。(P.66)

31 件分の受信音声や送信音声を録音できます。録音可能時間は保存件数に関係なく約 35 分が上限です。
録音件数や録音時間を超えた場合、古い録音から自動的に消去されます。
録音音声を再生しているときに通話を受信した場合は、再生を停止して受信音声を出力します。
ユーザーコードの不一致や個別通信の相手ではない場合は信号を受信していても再生を継続します。
再生中に送信した場合は再生を停止します。

```
[録 音 デ ー タ ー 覧]
着  UC      01:35 ▲
不  個123   00:16
発 *全局    02:10 ▼
```

呼出形態 ／ 未再生表示 ／ 通信形態 ／ 録音時間

呼出形態

録音された通信が呼び出されたのか、または呼び出したのかを表します。状態は漢字 1 文字で以下のように表示されます。

着…受信のみ
不…受信のみ (個別通信で個別番号を指定して呼ばれたとき)
発…送信のみ
呼…送信をして応答があった場合
応…受信をして応答した場合

未再生表示

まだ再生してない録音には＊マークが表示されます。

通信形態

録音された通信がどのような通信だったかを表します。

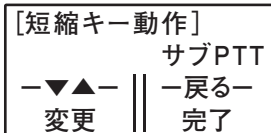
UC……………ユーザーコード通信時に表示されます。
全局 ……………個別通信設定時に全局指定の呼出しを受信するか、全局指定で送信した場合に表示されます。
グ - ○○ ……個別通信設定時にグループ番号○○で呼出しを受信するか、グループ番号○○で送信した場合に表示されます。
個○○○……個別通信設定時に個別番号○○○から個別番号を指定して呼ばれるか、個別番号○○○を指定して呼んだ場合に表示されます。

録音時間

録音時間が分 : 秒で表示されます (無通信時の無音時間は含まれません)

•••••••••••• 短縮キー動作 ••••••••••••

セットモード「各種動作設定」の短縮キー動作で、「短縮」キーを押したときの動作を選択できます。
モニター、サブ PTT、直通個別 PTT、スキャン、送信出力切替、緊急、プライベート CH、固定音量切替、最終録音再生があります。
* マークの機能はキーロック中も動作します。

[短縮キー動作]
サブPTT
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

モニター * …モニター機能 (P.39) の動作をします。
サブ PTT* …現在の出力設定とは別に、同じセットモードの「サブ PTT 出力」で設定した出力で送信します。
直通個別 PTT* …素早く連絡を取りたい相手に送信できます。
通信相手はセットモード「個別通信」の「直通相手選択」で設定します。
スキャン …スキャン設定されている CH をスキャンします。
送信出力切替 …押す毎に送信出力を切り替えることができます。
緊急 * …3 秒押し続けると緊急通報機能が動作します。
プライベート CH…プライベート CH(P.40) に切り替えます。
固定音量切替 …音量を一時的に固定化します。固定化させる音量はセットモードの「固定音量レベル」で設定した値です。
最終録音再生 …最後に録音されたデータを再生します。

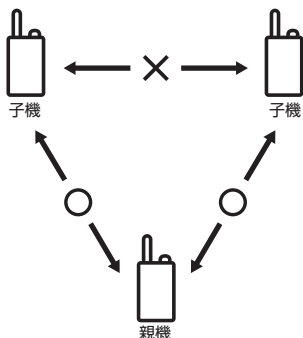
注意 ・ デュアルオペレーションモードのときはサブ CH 送信動作となります。

・・・・・・・・・・ 子機間通話禁止機能 ・・・・・・・・・・

親機と子機間のみ通信可能にし、子機どうしの通信はできません。
（子機設定のときはディスプレイに「子機アイコン」が点灯します）
子機同士を通話できなくさせることで、管理者 (親機) が子機を指揮しやすくする通話方法です。子機同士が話した間違った情報が拡散するのを防ぐ等のメリットがあります。
セットモード「通信設定」の「親機子機切替」で設定します。
「親機子機切替」は拡張セットモードの項目です。(P.62)
親機は複数設定でき、親同士は通信可能です。

子機 ←── × ──→ 子機

○ ○

親機

参考 この機能を使わないときは全ての無線機を親機に設定してください。
初期設定は親機です。

受信音質調整機能

受信音声の音質を調節できます。
聞き取りやすいと感じるように設定してください。
セットモード「受信設定」の「低音域抑制」、「高音域抑制」それぞれで抑制レベルを設定できます。

[○音域抑制]
抑制レベル○
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

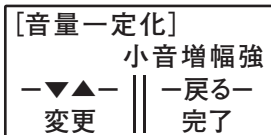
受信低下通知機能

受信信号が弱くなったらビープ音で知らせます。通話できなくなる可能性を事前に知らせてくれる機能です。
セットモード「通知 / 警告設定」の「受信低下通知」で設定します。

[受信低下通知]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

受信音量一定化機能

送り手により異なる声の大きさを一定化してからスピーカやイヤホンに出力することで、音声を聞き取りやすくします。
セットモード「受信設定」の「音量一定化」で設定します。

[音量一定化]
小音増幅強
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

大音抑制　　小音増幅弱　　小音増幅強

参考
・小音増幅時には、自動的に大音抑制機能も動作します。

・・・・・・・・・ ノイズキャンセル機能 ・・・・・・・・・

※ Bluetooth マイク使用時、この機能は動作しません。

音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。
イベント会場や工場内、機械室内など騒音の大きい環境で効果があります。
セットモード「送信設定」の「ノイズキャンセル機能」で設定します。

［ノイズキャンセル機能］
効果○
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

参考
- ノイズキャンセル機能は、本体正面の音声マイクで受けた音声と本体下部のノイズマイクで受けたノイズと比較して、ノイズ成分を打ち消すような音声波形を当ててノイズを取り除く処理です。ノイズ抑制機能とは別の機能です。

注意
- 本体下部のノイズマイクを塞がないよう注意してください。
- 最適な効果が得られるのは口とマイクの距離が 5cm 程度離れている状態です。
- 突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
- 騒音が少ない場所では、送信音声が小さくなったり、歪んだりすることがあります。その場合はノイズキャンセル機能をオフにすることをおすすめします。
- 効果大に設定しても効果が感じられない場合があります。

ノイズ抑制機能

受信音に含まれるノイズ成分を抑えて音声を際立たせる機能です。
セットモード「送信設定」の「ノイズ抑制機能」で設定します。
「ノイズ抑制機能」は拡張セットモードの項目です。

［ノイズ抑制機能］
オン
ー▼▲ー 変更 ‖ ー戻るー 完了

参考
・この機能は、マイクに入った音声をデジタル処理してノイズ成分を抑えるもので、ノイズキャンセル機能とは異なります。

注意
・ノイズの種類によっては効果が弱く感じられることがあります。
・雑音を抑えるまで時間がかかることがあります。
・周辺音もモニターしたいときは、本機能はオフにしてください。オンにすると周辺音は補正されます。

VOX 動作

「PTT」キーを押して送信する代わりに、「本機に入ってきた声」に反応して自動的に送信する機能です。
話しかければ自動的に送信し、話し終えれば自動的に受信状態になります。

[VOX動作設定]
通常VOX動作
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

セットモード「送信設定」の「VOX 動作設定」、「VOX 動作レベル」で、VOX の動作条件と動作音量を設定することができます。
「VOX 動作設定」及び「VOX 動作レベル」は拡張セットモードの項目です。

VOX 動作設定

通常 VOX 動作　…送受信共に、自動で切り替わります。
送信開始時 PTT キー …「PTT」キーで送信、話し終わると自動で受信になります。頭切れと、咳払い等での誤送信を防げます。
送信終了時 PTT キー …自動で送信して、「PTT」キーで受信になります。息継ぎなどで通話が途切れたり、任意のタイミングで送信を終わりたいときに便利です。

参考
- 通話中「PTT」キーを押し続けるのがわずらわしい時は VOX の代わりにセットモード「送信設定」の「PTT ホールド」を設定すると、話始めと終わりに「PTT」キーを押すだけで通話できるようになります。
  PTT ロック機能がない別売りのマイク類をお使いの時はロックの代わりに使えます。

•••• デュアルオペレーションモード ••••

※ Bluetooth マイク使用時、この機能は動作しません。

メイン / サブの 2 つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。
拡張セットモードの「デュアルオペレーション」の「動作設定」をオンにして、同じセットモードの「メイン CH 設定」、「サブ CH 設定」を設定します。(P.80)

```
[動作設定]
              オン
—▼▲— || —戻る—
  変更   ||   完了
```

待受画面の CH01 で「▼」キーを押すとデュアルオペレーションモードとなり受信を開始します。
受信終了後に動作再開する時間を同じセットモードの「再開時間設定」で設定することができます。
メイン CH とサブ CH の切り替え時間は同じセットモードの「CH 切替間隔」で設定することができます。

送信

メイン CH で送信する場合は「PTT」キーを、サブ CH で送信する場合は、「短縮」キーを押します。
送受信が終了した後、再開時間の経過で交互待ち受けを再開します。

```
[メインCH設定]
              CH01
—▼▲— || —戻る—
  変更   ||   完了
```

受信

メイン側を受信すると「メイン側入感あり」と表示され、「ピッ」音が鳴ります。また、サブ側を受信すると「サブ側入感あり」と表示され、「ピピッ」音が鳴ります。

```
[サブCH設定]
              CH02
—▼▲— || —戻る—
  変更   ||   完了
```

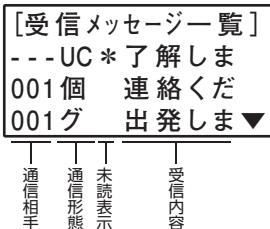
参考
- オプションのスピーカーマイク等で送信する場合は、外部「PTT」キーの一度押しでメイン側を、二度押しでサブ側を送信できます。
- セットモードの「短縮キー動作」は一時的に無効になります。
- 本機能の動作中はバッテリーセーブ機能は動作しません。

ショートメッセージ機能

通信相手にショートメッセージを送信できる機能です。
この機能を使用するには、受け側が拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「受信の許可禁止」を許可に設定している必要があります。
メッセージを送信するには拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「メッセージ送信」よりあらかじめ用意された４種類の文章の中から「機能」キーで選択し、もう一度「機能」キーを押すと「送信中」と表示されます。

送信が完了すると「送信完了」と表示されます。受信時は待受画面にアイコンが表示されます。
同じセットモードの「受信時自動表示」をオンにすると受信したメッセージを自動で表示します。「戻る」キーを押すと待受画面に戻れます。

受信メッセージ一覧では今までの通信記録が確認できます。
保存件数は４件までです。

通信相手…個別通信時に送信相手の個別 ID を表示します。
通信形態…呼び出された通信がどのような通信だったかを表示します。
UC →ユーザーコード通信時
個　→個別通信の個別呼出時
グ　→個別通信のグループ呼出時
全　→個別通信の全局呼出時

参考 弊社 HP で無償配布する編集ソフトを使えば全角半角混在で 32 文字までのメッセージを４つ、任意に作って本機に登録することができます。オリジナルは以下の４つです。

- 了解しました
- 連絡ください
- 出発します
- 到着しました

・・・・・・・・・ エアクローンモード ・・・・・・・・・

未設定のDJ-DPS71(クローン機)を、設定が済んだDJ-DPS71(マスター機)から無線で任意の台数を一度にクローンできます。クローン機はどんな設定になっていても、全てマスター機の設定に書き換えられます。チャンネルを合わせるなど、事前の用意はありません。

①マスター機にする1台に、必要な設定を行います。
②マスター機も子機も全て、「機能」「▼」「戻る」の3つのキーを同時に押したまま電源を入れ、機種名表示の後に指を離して、“【エアクローン】短縮長押しで送信 [CH**]”を表示させます。

[エアクローン]
短縮長押しで送信
[CH**]

③「▼/▲」キーを使って親機、子機とも同じ空きチャンネルの番号に合わせます。
子機側は何もしません。マスター機の「短縮」キー（PTTの下のキー）を2秒間程長押しすると送信が始まり、マスター機は「データ送信中」、子機は「データ受信中」と、進行状態が表示されます。
④クローンが成功するとマスター機は「データ送信完了」、子機は「データ受信完了」を表示してビープ音を2回鳴らします。子機の電源を入れなおして設定が正しくクローンされているか確かめます。作業が終わったら電源を切ります。

注意
・エアクローンにかかる時間は 45 秒～ 50 秒ほどです。事前にバッテリーパックを充電しておいてください。
・初期値ではエアクローンモードになると CH30 を自動的に選択します。エラーになるときは CH30 に強い電波が出ている可能性があります。この時はエアクローンモードで「▼/▲」キーを押し、全ての無線機のチャンネルを手動で変えてください。CH26 ～ 30 が総務省の推奨するデータ通信用チャンネルです。
・マスター機の送信中に再度「短縮」キーを長押しすると、クローンを中止できます。
・クローンが中断されたり失敗したりした子機は「データ受信失敗」と表示されます。改めてマスター機の「短縮」キーを長押しして送信すると、最初からクローンを再開します。「短縮」キーを押すタイミングによっては子機が反応しなかったり、ビープ音が鳴ったりすることがありますが異常ではありません。少し間をおいてリトライしてください。

注意
- 失敗した状態で子機の電源を切り、再度電源を入れると「受信失敗したからもう一回最初から送り直してください」と表示されます。マスター機の「短縮」キーを長押しすると最初からクローンを再開します。
- エラー状態の子機でも、電源を切って「短縮」と「戻る」キーを同時に押しながら電源を入れて「機能」キーを押すリセットをすれば初期状態で起動します。クローンエラーが無線機の故障の原因になることはありません。
- Bluetooth 機能のオンオフ設定はエアクローンされますが、ペアリング情報は設定されません。初めて Bluetooth 対応アクセサリーを使うときはペアリング操作をしてください。

参考
- クローン機にアンテナを接続すると混信を受けて、エラーになる可能性が高くなります。同じ机の上に並べてその前から送信する程度の距離であれば、クローン側はアンテナを外していてもエアクローンできます。

・・・・・・・ ACSH(アクシュ) モード ・・・・・・・

既に使用している無線機のチャンネルとユーザーコードを探知して、本機に同じものを自動設定する機能です。キー操作での設定を省略できます。

■ ACSH(Auto Connect Shake Hands) モードについて

- 設定元の無線機はデジタル簡易無線登録局 3R の AMBE コーデック機で、下記の状態、条件でなければメーカーや機種を問いません。
- 本機を ACSH モードにして、自動設定が完了するまで最長で 30 秒程度かかります。バッテリーパックを充電してから操作してください。
- ACSH モードは 1 分経つと誤設定を防ぐため自動的に電源が切れます。多数の無線機を ACSH する時は複数回に分けるか、誰かに手伝ってもらうなどしてください。
- ACSH モードでの自動設定は、外来電波による誤判定を防ぐため近距離で行ってください。自動設定中は電源を切らないでください。
  机の上に並べてそのすぐ前から送信する程度の距離であれば、外来電波を受信しないように受信側のアンテナを外してください。
- ACSH モードで自動設定すると、誤操作を防ぐためキーロックします。設定変更などのキー操作をするときは、「戻る」 キーを長押ししてキーロックを解除してください。
- リセットすると ACSH モードで自動設定した内容は消去され、初期化します。

■ ACSH ができないもの

- 秘話設定 (送信側) : 秘話通信の性質に配慮して、秘話が掛かった電波は自動設定しないようにしています。
- CH15 (送信側) : 呼び出しチャンネルです。他のチャンネルを選んでください。
- 上空用 3S のチャンネル : 本機の上空用 CH 受信設定をしていても ACSH できません。
- 個別呼び出しモード : 設定元の無線機が個別呼び出しモードになっていると ACSH できません。

■ ACSH モードの操作

※電源を入れたとき、電池残量表示の左に鍵のアイコンが表示されていたら「戻る」キーをアイコンが消えるまで押してください。
本書 P.22 の「■本体」のイラストで、各部の名称を覚えておいてください。
電池残量を確認した、設定元になる無線機を 1 台用意します。

① [PTT] キーの下にある「短縮」キーを押したままで電源 / 音量つまみを時計方向に回して電源を入れます。画面に「ACSH モード」と表示されたら「短縮」キーを離します。
②「アクシュモードです、設定元のトランシーバーを送信してください」と音声でお知らせして、電波を探し始めます。ACSH したい本機全てに同じ操作をします。
③準備ができたら設定元となるトランシーバーで送信します。話す必要はありません。全ての子機の ACSH が終わるまで送信しておいてください。正常に終了すると「自動設定が完了しました。」とお知らせした後、キーロック状態になります。

書き込みエラーが起きると「ACSH の設定ができませんでした」とお知らせした後に電源が切れます。ACSH できなかったときは親・子いずれも電源を入れなおして、再度①から操作してください。リセットしておく必要はありません。

ビジーアラーム

ユーザーコードや通信モードが一致せず受信音声は出ていなくても、そのチャンネルで強い電波（キャリアセンスがかかる強さ）を受信している時に、ビープ音でお知らせする機能です。別のユーザーグループが同じチャンネルで通話していることが分かりやすくなります。ビープが鳴っているときはキャリアセンスが働いている可能性が高く、PTT を押しても送信できないことがあります。スピーカーから音が出る信号を受信しているときは、ビジーアラームは鳴りません。セットモード「通知 / 警告設定」の「ビジーアラーム」で動作条件を選択します。音量はセットモード「操作音設定」の「ビープ音量」で、他のビープ音と同じレベルに設定できます。ビープ音量が「オフ」設定の時はビジーアラームも鳴りません。

- 秒数設定：その間隔ごとに受信信号の有無を確認し、強い電波があればビープ音が鳴ります。
- 入感時と消感時：強い電波の入感時にピポ、消感時や弱まった時にポピとそれぞれ一度だけ鳴ります。入感時間の長短にかかわらず、秒数設定の様に複数回鳴ることはありません。

エンドピピ

通話終わりを知らせる「エンドピー機能」の進化形です。相手が送信を終わった時に、最後に受信した信号の強度に応じて、強い時は「ピッ」、通話ができるレベルなら「ピピッ」、通話が不安定になりそうなときは「ピピピッ」、信号が途中で切れたか、弱くて通話が困難なレベルなら「ピー」と鳴ってお知らせします。いわば「耳で聞くアンテナマーク」です。セットモード「操作音設定」の「エンドピー」で「エンドピピ」を選択すると動作します。音量はセットモード「操作音設定」の「ビープ音量」で、他のビープ音と同じレベルに設定できます。ビープ音量が「オフ」設定の時はエンドピピも鳴りません。

接客モード

イヤホンマイクを装着時に、簡単な動作で受信音量を小さくする機能です。あらかじめセットした時間が経過すると元の音量に戻ります。接客モードの動作はセットモード「各種動作設定」の「接客モード」で設定します。キー操作で受信音量を小さくするよりも素早く小さくでき、自動で復帰するのが特徴です。接客モード動作中は本機のインジケーターが水色に点灯します。

注意 別売のマイクアクセサリーでも、以下のように対応しないものやご使用が制限されるものがあります。また VOX, PTT ホールド , デュアルオペレーションを使用中は接客モードが作動しません。

— 対応しないもの / 動作保証しないもの
- 弊社製咽喉マイク
- 他社製マイクアクセサリー全て
- 本機内蔵のマイク

— 弊社製でも制限のあるもの
- 「タッチ」未対応：Bluetooth マイク
- 「タッチ 」・「 ボイス 」未対応：有線式、無線式を問わずスピーカーマイク全て

- ハンド：イヤホンマイクの PTT キーを短く押すと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか、もう一度 PTT キーを短く押すと解除されます。
- タッチ：イヤホンマイクを軽くたたくと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか、もう一度マイクをたたくと解除されます。
- ボイス：送信していないとき、イヤホンマイクに自分の声が入っている間は受信音量が小さくなり、声がなくなると元の音量に戻ります。

いずれのモードも送信するときは PTT キーを操作します。

リセット

電源を切り、「短縮」キーと「戻る」キーを押したまま電源を入れます。「RESET」が表示されたら「機能」キーを押すと全て初期化されます。拡張セットモード、録音データ、ショートメッセージ、Bluetooth ペアリング情報も消去され、復元できなくなります。

RESET
実行→機能キー
中止→その他のキー

参考

- 販売店が納入前に各設定をプログラミングされ、リセットできないことがあります。（編集ソフトでリセット禁止が設定できます。）
- 誤操作で通話できなくなったときは、リセットしてから正常に動作する無線機をマスター機にしてエアクローンするのが一番確実な復旧方法です。(P.53) 販売店がプログラムして納入されたものはエアクローンせずに販売店にご相談ください。

7 セットモード

セットモード一覧

- 通信設定 (P.63)
  - ユーザーコード
  - 秘話コード
  - 秘話タイプ
  - 親機子機切替
- 個別設定 (P.64)
  - 個別通信動作
  - 通信相手選択
  - 自局 ID
  - 自局グループ
  - 個別呼出切替
  - グループ呼出切替
  - 全局呼出切替
  - 緊急相手選択
  - 直通相手選択
  - ▼ / ▲キー動作
- 録音機能 (P.66)
  - 録音データ一覧
  - 録音動作設定
  - 録音データ消去
  - 録音停止時間
- ショートメッセージ機能 (P.67)
  - 受信メッセージ一覧
  - 受信メッセージ消去
  - メッセージ送信
  - 受信の許可禁止
  - 受信時自動表示
- 送信設定 (P.68)
  - 送信出力
  - 内部マイク感度
  - 外部マイク感度
  - 緊急時マイク感度
  - PTT ホールド
  - コールバック
  - VOX 動作設定
  - VOX 時の内蔵マイク
  - VOX 動作レベル
  - ノイズキャンセル機能
  - ノイズ抑制機能
  - トーン抑制機能
- 受信設定 (P.70)
  - 音量一定化
  - 低音域抑制
  - 高音域抑制
  - 対象外受信
  - スケルチ
  - 受信ゲイン
- 通知 / 警告設定 (P.71)
  - ベル機能
  - ベルの音色
  - 音声ガイダンス
  - 減電池警告
  - 送信制限警告
  - 受信低下通知
  - イヤホン断線検出
  - ビジーアラーム

- 表示設定 (P.73)
  - バックライトタイマー
  - コントラスト
  - CH 非表示
  - 周波数表示
  - S メーター表示
  - 受信レベル表示
- 操作音設定 (P.74)
  - ビープ音量
  - PTT ビープ
  - エンドピー
- 電源設定 (P.75)
  - バッテリーセーブ
  - オートパワーオフ
- 各種動作設定 (P.76)
  - 上空用 CH 受信
  - CH 通信設定
  - プライベート CH 設定
  - 短縮キー動作
  - サブ PTT 出力
  - スキャンタイプ
  - スキャン CH 設定
  - 外部音量設定
  - 音量の調整方法
  - 固定音量レベル
  - 最大音量レベル
  - 最小音量レベル
  - 接客モード
  - 接客ボイス感度
  - 接客タッチ感度
  - 接客復帰時間
  - 接客ボイス保持
  - Bluetooth
  - ペアリング一覧
- デュアルオペレーション (P.80)
  - 動作設定
  - メイン CH 設定
  - サブ CH 設定
  - 再開時間設定
  - CH 切替間隔
- 緊急動作設定 (P.81)
  - 受信の許可禁止
  - 警報音のみ
  - 警報音＋発報
  - 発報のみ
  - 音声送信
  - 受信動作
  - 繰り返し回数
  - 再発報条件
  - 警報音量（内部）
  - 警報音量（外部）
- ショックセンサー機能 (P.83)
  - 動作モード
  - 検出方向
  - 傾斜判定角度
  - 傾斜判定時間
  - 衝撃判定強度
  - 遠隔操作
- 温度センサー機能 (P.85)
  - 温度表示
  - 高温警報
  - 低温警報
- 機器情報 (P.85)

参考

- グレー表示の部分は次のページの拡張セットモードにて設定操作をすると表示され、使えるようになります。
- 反転文字は Bluetooth 未対応で Bluetooth 接続時は表示されません。

・・・・・・・・・ セットモード基本操作 ・・・・・・・・・

本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■セットモードの設定方法

①待受画面で「機能」キーを押してセットモードに入ります。
②「▼／▲」キーを押して設定したい項目に合わせ、もう一度「機能」キーを押します。
③「▼／▲」キーで設定したい項目を選んで「機能」キーを押します。表示に従いキー操作すると、確定します。
④「戻る」キーを押して編集を続けるか、「PTT」キーで待ち受け画面に戻ります。

■拡張セットモードの設定方法

①一度電源をオフにして、「機能」キーを押しながら電源をオンにします。
②「拡張設定有効？」と表示されます。「機能」キーを押すと拡張セットモードが有効になります。
③セットモードに入ると設定項目が増えた拡張セットモードになっています。
④拡張セットモードを通常のセットモードに戻すときも同様の操作で、「拡張設定無効？」と表示されます。「機能」キーを押すと通常のセットモードになります。
拡張セットモードの設定項目を変更した場合、変更は適応されたまま通常セットモードに戻ります。拡張セットモードだけの設定項目をまとめてリセットしたり保存したりすることはできません。

参考 拡張セットモード時は [セットモード＋] と表示されます。

••••••••••••• セットモード •••••••••••••

セットモードの設定内容です。
* マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。
** マークが付いている項目は Bluetooth に対応していない項目で、Bluetooth 接続時は表示されません。

■通信設定

●ユーザーコード

ユーザーコードを設定します。
「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。
「戻る」キー長押しで設定したコードとオフを切り替えます。

［ユーザーコード］
オフ
ー機能ー ‖ ー▼▲ー
桁移動 ‖ 変更

オフ /001 ～ 511

●秘話コード

秘話通信で使用する秘話キーを設定します。
「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。
「戻る」キー長押しで設定したコードとオフを切り替えます。

［秘話コード］
オフ
ー機能ー ‖ ー▼▲ー
桁移動 ‖ 変更

オフ /00001 ～ 32767

●秘話タイプ

強化秘話通信を使用するときに選択します。
初期値は標準秘話です。

標準秘話 / 強化秘話 01 ～ 15

［秘話タイプ］
標準秘話
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

※秘話タイプを使うときは秘話コードも同じものを通話グループ全員に設定してください。

●親機子機切替 *

子機間通話禁止機能を選択します。初期値は親機です。

親機 / 子機

```
[親機子機切替]
          親機
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

■個別設定

●個別通信動作

個別通信機能を使うときはオンにします。初期値はオフです。

オフ / オン

```
[個別通信動作]
          オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

●通信相手選択

個別通信の相手を選びます。
「機能」キーを押すと桁移動ができます。初期値は全局です。

個別 001 ～ 200/ グループ 01 ～ 10/ 全局

```
[通信相手選択]
          全局
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

●自局 ID

個別通信で使用する自分用の ID を設定します。初期値は 001 です。

001 ～ 200

```
[自局ID]
           001
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

●自局グループ

個別通信で使用する自分用のグループを設定します。
初期値は 01 です。

01 ～ 10

```
[自局グループ]
            01
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

※個別通信の ID やグループ番号の設定は「個別通信」P.31 ～のイラストが参考になります。

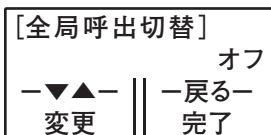
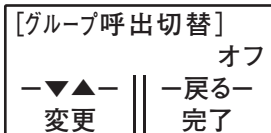
●個別呼出切替 *
●グループ呼出切替 *
●全局呼出切替 *

初期設定の「オフ」では個別、グループ、全局で選択呼び出しされたとき、呼び出した人と自分の通話相手設定が異なっていると応答できません。
自動で通話相手を切り替えて応答した後、その状態を一定時間保持してから元の通話設定に戻す、または通話相手を呼び出した人に切り替えてしまうことができます。
それぞれ、以下の設定が選べます。

オフ /5 秒 /10 秒 /30 秒 /60 秒 / 完全切替

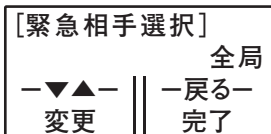
[個別呼出切替]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

[グループ呼出切替]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

[全局呼出切替]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●緊急相手選択 *

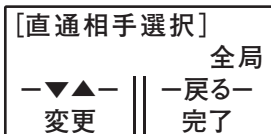
個別通信で緊急通報するときの相手やグループを指定できます。初期値は全局です。

無し / 個別 001 ～ 200/ グループ 01 ～ 10/ 全局

[緊急相手選択]
全局
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●直通相手選択 *

個別通信で「短縮」キーに直通個別 PTT を割り当てた場合の相手を指定できます。初期値は全局です。

個別 001 ～ 200/ グループ 01 ～ 10/ 全局

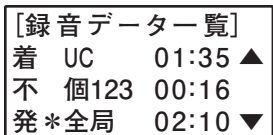
[直通相手選択]
全局
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●▼／▲キー動作 *
個別通信時の「▼／▲」キーの動作を選択します。
初期値はチャンネル選択です。

チャンネル選択 / 通信相手選択

[▼／▲キー動作]
チャンネル選択
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

■録音機能 *

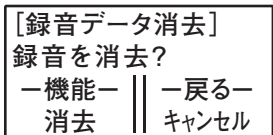
●録音データ一覧 *
録音したデータを再生できます。
「▼／▲」キーでデータを選び「機能」キーで再生します。

[録音データ一覧]
着　UC　　01:35 ▲
不　個123　00:16
発＊全局　　02:10 ▼

●録音動作設定 *
録音するときの動作条件を選択します。初期値はオフです。

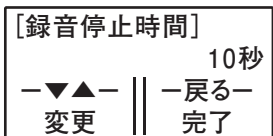
オフ / 全て録音 / 全局通話のみ録音 / 全局＋グループ録音 / 全局＋個別録音 / 個別通話のみ録音 / 個別＋グループ録音 / グループのみ録音

[録音動作設定]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●録音データ消去 *
「機能」キーを押すと録音したデータを消去できます。
すべての録音データが消去されます。部分的な消去はできません。

[録音データ消去]
録音を消去?
ー機能ー ‖ ー戻るー
消去 ‖ キャンセル

●録音停止時間 *
待ち受け状態になってから何秒後に録音を停止するかの設定です。
待ち受け中の無音状態は録音されません。

1 秒 /5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒

[録音停止時間]
10秒
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

■ショートメッセージ機能 *

●受信メッセージ一覧 *

受信したショートメッセージを確認できます。
「▼／▲」キーでデータを選び「機能」キーで確認します。

[受信メッセージ一覧]
---UC＊了解しま
001個　連絡くだ
001グ　出発しま▼

●受信メッセージ消去 *

「機能」キーを押すと受信したショートメッセージを消去できます。
すべての受信メッセージが消去されます。

[受信メッセージ消去]
メッセージを消去?
ー機能ー ‖ ー戻るー
消去 ‖ キャンセル

●メッセージの送信 *

ショートメッセージを送信します。
「▼／▲」キーでメッセージを選び「機能」キーで選択、もう一度「機能」キーを押すとメッセージを送信します。

[メッセージ送信]
1：了解しました
2：連絡ください
3：出発します ▼

●受信の許可禁止 *

ショートメッセージを受信させるかどうか選択します。初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]
禁止
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●受信時自動表示 *

ショートメッセージ受信時に自動で表示させるかどうか選択します。
初期値はオンです。

オフ / オン

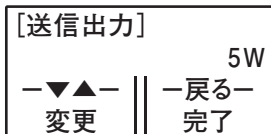
[受信時自動表示]
オン
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

■送信設定

●送信出力

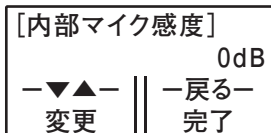
送信出力を選択します。
初期値は 5W です。

受信のみ /1W/2W/5W

[送信出力]
5W
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●内部マイク感度 **

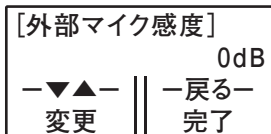
本体内部マイクの感度を変更できます。初期値は 0dB です。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)

[内部マイク感度]
0dB
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●外部マイク感度

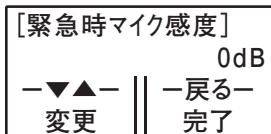
外部マイクの感度を変更できます。
初期値は 0dB です。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)

[外部マイク感度]
0dB
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●緊急時マイク感度 * **

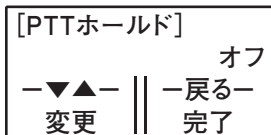
緊急動作時のマイクの感度を変更できます。緊急動作設定（P.81）の音の音声通話時のマイク感度の設定です。初期値は 0dB です。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)

[緊急時マイク感度]
0dB
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●PTT ホールド *

「PTT」キーを一度押すと送信を保持、もう一度押すと待ち受けに戻ります。送信中はハンズフリーになります。初期値はオフです。

オフ / オン

[PTTホールド]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **コールバック *****

送信中自分が話している声をイヤホンで聞くことができる機能です。ボリュームとは連動しません。
初期値はオフです。

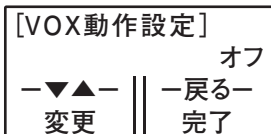
オフ / オン

[コールバック]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **VOX 動作設定 ***

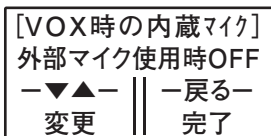
VOX の開始終了条件を選択します。
初期値はオフです。

オフ / 通常 VOX 動作 / 送信開始時 PTT キー / 送信終了時 PTT キー

[VOX動作設定]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **VOX 時の内蔵マイク ***

VOX 動作設定時に内蔵のマイクを使用するかを選択します。
初期値は外部マイク使用時です。

外部マイク使用時 OFF/ 常に ON

[VOX時の内蔵マイク]
外部マイク使用時OFF
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **VOX 動作レベル ***

VOX の動作音量を選択します。
初期値は 4 です。数字が大きいほど小さな声でも反応します。

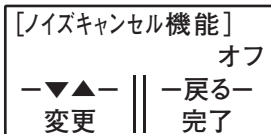
1: 大声で動作 /2/3/4/5/6/7: 小声で動作

[VOX動作レベル]
4
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **ノイズキャンセル機能 ****

ノイズキャンセルの強さを選択します。初期値はオフです。

オフ / 効果小 / 効果中 / 効果大

[ノイズキャンセル機能]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **ノイズ抑制機能 ***
ノイズ抑制機能を動作させるかどうか選択します。
初期値はオンです。

オフ / オン

[ノイズ抑制機能]
オン
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

● **トーン抑制機能 ***
サイレンのような一定周期で鳴る騒音を軽減します。騒音の種類によって効果は変わります。
初期値はオフです。

オフ / オン

[トーン抑制機能]
オフ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

■受信設定

● **音量一定化**
受信した音の大きさを均一化させる機能です。
初期値はオフです。

オフ / 大音抑制 / 小音増幅弱 / 小音増幅強

[音量一定化]
オフ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

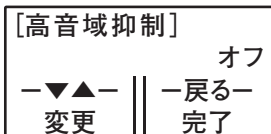
● **低音域抑制**
受信した音声の低音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強

[低音域抑制]
オフ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

● **高音域抑制**
受信した音声の高音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強

[高音域抑制]
オフ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

●**対象外受信 ***

ユーザーコード通信や秘話通信設定中は他の信号が聞こえません。オンにすると設定した通信のまま設定以外の受信も可能となります。動作保証はできません。受信できない信号もあります。
初期値はオフです。

［対象外受信］
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

オフ / オン

●**スケルチ ***

値を大きくするとアンテナマークの誤表示やスキャン時の速度低下が改善されますが、弱い信号は受信しにくくなります。0にするとノイズが出ます。初期値は 5 です。

［スケルチ］
5
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

0～9

●**受信ゲイン ***

敢えて受信感度を悪くすることで、至近距離で使用中の無線機やノイズなどが原因の通信障害を低減します。自動は強い信号を検知して作動しますが誤動作もあります。狭いエリアで多数の無線機を使う環境に向いた機能です。初期値はゲイン5（最大）です。

［受信ゲイン］
ゲイン5（最大）
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

自動 / ゲイン 1(最小)/ ゲイン 2/
ゲイン 3/ ゲイン 4/ ゲイン 5(最大)

■通知 / 警告設定

●**ベル機能**

信号を受信したときにベル音とアイコンを点滅させて知らせます。
初期値はオフです。

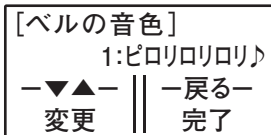
［ベル機能］
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

オフ / オン

●ベルの音色 ***

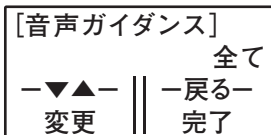
ベル機能のベルの音色を設定します。3 種類の中から選択できます。初期値は 1 です。

1:ﾋﾟﾛﾘﾛﾘﾛﾘ♪ /2:ﾌﾟﾙﾙｯﾌﾟﾙﾙｯ♪ / 3:ﾋﾟﾋﾟｯﾋﾟﾋﾟｯ♪

[ベルの音色]
1:ピロリロリロリ♪
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●音声ガイダンス

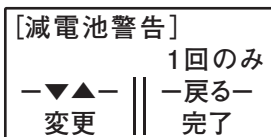
音声ガイダンスの動作条件を選択します。初期値は全てです。

オフ/CH案内のみ/音量案内のみ/CH+音量案内/操作案内のみ/全て

[音声ガイダンス]
全て
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●減電池警告 *

電池の残量が少なくなると警告音でお知らせする機能です。
初期値は 1 回のみです。

オフ /1 回のみ /30 秒ごと /1 分ごと /2 分ごと /5 分ごと /10 分ごと

[減電池警告]
1回のみ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●送信制限警告 *

送信制限の 5 分が近いことをお知らせする機能です。
30 秒前 :「ピピピ」
5 秒前 :「ピー」
初期値はオンです。

オフ / オン

[送信制限警告]
オン
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●受信低下通知

受信中の信号レベルが低下するとビープ音で警告します。
初期値はオフです。

オフ / やや弱い時 / 弱い時 / かなり弱い時

[受信低下通知]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**イヤホン断線検出**
電源を入れたときに、イヤホンが断線していたらビープ音、音声、インジケーターで知らせる機能です。
初期値はオフです。

オフ / オン

[イヤホン断線検出]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**ビジーアラーム**
ビジーアラームの動作条件を選択します。(P.57)
初期値はオフです。

オフ /1 ～ 30 秒ごと / 入感時と消感時

[ビジーアラーム]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

■表示設定

●**バックライトタイマー**
バックライトを何秒後に消灯するか選択します。
初期値は 5 秒です。

消灯 /5 秒 /10 秒 /30 秒 /60 秒 / 常灯

[バックライトタイマー]
5秒
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**コントラスト ***
ディスプレイの濃さを見やすくなるように変更できます。初期値は 8 です。

1 ～ 10

[コントラスト]
8
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**CH 非表示**
液晶表示の内容を他人に見られないように隠す機能です。設定時間がたつと CH や呼び出し設定の内容が消え、「— — — —」が表示されます。「短縮」キーを押すと再表示します。初期値はオフです。

オフ /5 秒 /10 秒 /30 秒 /60 秒

[CH非表示]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

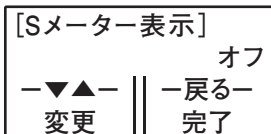
●**周波数表示 ***
CH 表示の代わりに周波数を表示する機能です。チャンネル番号も小さく表示されます。初期値はオフです。

オフ / オン

[周波数表示]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**S メーター表示 ***
待受画面の下部に受信信号強度の S メーターを表示します。一部のアイコンは表示されなくなります。初期値はオフです。

オフ / オン

[Sメーター表示]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**受信レベル表示 ***
受信レベルを表示するアンテナマーク及び S メーターの動作する信号の種類を選択します。
「標準」では目的の信号のみ、「拡張」ではノイズを含めたすべての信号レベルを表示します。初期値は標準です。

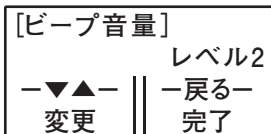
標準 / 拡張

[受信レベル表示]
標準
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

■操作音設定

●**ビープ音量 ****
ビープ音量を設定します。オフにすると PTT ビープやエンドピーも鳴らなくなります。
初期値はレベル 2 です。

オフ / ボリューム連動 / レベル 1 ～レベル 4

[ビープ音量]
レベル2
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**PTT ビープ**

「PTT」キーを押すと「ピッ」と鳴り、鳴り終わってから話すことで頭切れを防ぎます。相手には音は聞こえません。初期値は低音レベル 2 です。

[PTTビープ]
低音レベル2
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

オフ / 低音レベル 1/ 高音レベル 1/ 低音レベル 2/ 高音レベル 2/ 低音レベル 3/ 高音レベル 3

●**エンドピー**

相手が話し終わったことを「ピッ」音で合図します。聞きたい側で設定します。送信側が出す音ではありません。初期値は低音レベル 2 です。

[エンドピー]
低音レベル2
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

オフ / 低音レベル 1/ 高音レベル 1/ 低音レベル 2/ 高音レベル 2/ 低音レベル 3/ 高音レベル 3/ エンドピピ

■電源設定

●**バッテリーセーブ**

本体内部で電源を短い間隔でオンオフさせることで、待受中の消費電力を抑えバッテリーを長持ちさせる機能です。初期値はオフです。

[バッテリーセーブ]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

オフ / オン

参考　デジタル通信では、無線機は自分の交信相手かどうか等を確認するデータを毎回発信します。バッテリーセーブ中にこの信号を受けると認識できず、呼び出し自体を無視することがあります。このため、特に業務ユーザーはこの設定をオフにしておくことをお勧めします。

●**オートパワーオフ ***

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定された時間続くと、自動的に電源が切れます。初期値はオフです。

[オートパワーオフ]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

オフ /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 /5 時間 /6 時間

■各種動作設定

●上空用 CH 受信 *

上空用 CH(S1 ～ S5) を受信する機能です。初期値はオフです。

オフ / オン

[上空用CH受信]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●CH 通信設定 *

ユーザーコード、秘話コードとタイプ、送信出力を全 CH で一括設定するか、CH ごとにするかが選べます。初期値は全 CH で一括設定です。

全 CH で共通設定 / 各 CH で個別設定

[CH通信設定]
全CHで共通設定
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●プライベート CH 設定

プライベート CH を設定します。初期値は CH01 です。

CH01 ～ CH30/ 上空 S1 ～上空 S5

[プライベートCH設定]
CH01
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●短縮キー動作

短縮キーに任意の機能を割り当てることができます。
初期値はオフです。

オフ / モニター / サブ PTT/ 直通個別 PTT/ スキャン / 送信出力切替 / 緊急 / プライベート CH/
音量固定・連動 / 最終録音再生

[短縮キー動作]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●サブ PTT 出力

「短縮」キーにサブ PTT 機能を割り当てたときの送信出力を設定します。初期値は 1W です。

1W/2W/5W

[サブPTT出力]
1W
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●スキャンタイプ *

受信して止まったスキャンの再開条件です。ビジーは受信終了後、タイマーは受信してから設定した秒数経過したらスキャンを再開します。初期値はビジーです。

ビジー / タイマー 5 秒 / タイマー 10 秒 / タイマー 20 秒 / タイマー 30 秒 / タイマー 60 秒

[スキャンタイプ]
ビジー
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●スキャン CH 設定 *

不要な CH を飛ばして（スキップ）指定した CH だけをスキャンできます。「▼／▲」キーで CH を指定、「機能」キーでスキップを選択します。初期値は全ての CH をスキャンします。

スキャン / スキップ

[スキャンCH設定]
CH01　スキャン
ー▼▲ー ‖ ー機能ー
CH移動 ‖ 変更

●外部音量設定 **

SP/MIC 端子から出力する音量を 3 段階で選べます。
初期値は音量中です。

音量小 / 音量中 / 音量大

[外部音量設定]
音量中
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●音量の調整方法

音量ツマミの位置に関係なく音量を固定化する機能です。
初期値はボリューム連動です。

ボリューム連動 / 設定値に固定

[音量の調整方法]
ボリューム連動
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●固定音量レベル **

前述の「音量の調整方法」で固定する音量レベルを選択します。
初期値は 16 です。

0 ～ 32

[音量固定レベル]
16
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**最大音量レベル *****
音量ツマミの位置に関係なく音量の上限を決める機能です。
初期値は 32 です。

0 ～ 32

[最大音量レベル]
32
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

●**最小音量レベル *****
音量ツマミの位置に関係なく音量の下限を決める機能です。
初期値は 00 です。

0 ～ 32

[最小音量レベル]
0
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

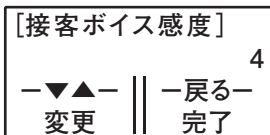
●**接客モード**
接客モードの動作条件を選択します。初期値はオフ(使わない)です。

オフ / ハンド / タッチ **/ ボイス

[接客モード]
オフ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

●**接客ボイス感度**
接客モードのボイスで、受信音量を小さくさせるときの声の大きさを設定します。
数値が大きいほど小さな声にも反応します。初期値は 4 です。

オフ /1 ～ 7(1 ステップ)

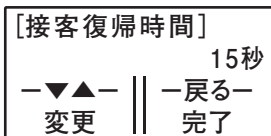
[接客ボイス感度]
4
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

参考
環境音が大きい場所では数値を小さく設定してお試しください。この調整をしても騒音に反応して誤動作するような場所ではボイスモードはお使いになれません。

●**接客タッチ感度 ****

接客モードのタッチで、受信音量を小さくさせるときのタッチの強さを設定します。「高い」は軽く叩くだけで反応します。
初期値は標準です。

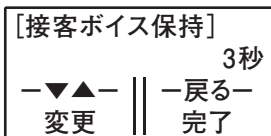
低い / 標準 / 高い

●**接客復帰時間**

接客モードのハンドとタッチで受信音量を小さくしたときの継続時間を設定します。
初期値は 15 秒です。

5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒 /60 秒

参考 設定した時間が経過すると自動で元の音量に戻ります。

●**接客ボイス保持**

接客モードのボイスで自分の話し声が無くなった後、何秒後に元の音量に戻るかを選択します。
初期値は 3 秒です。

1 ～ 5 秒 (1 秒ステップ)

●**Bluetooth**

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーと接続できます。
初期値はオンです。

オフ / オン

●**ペアリング一覧**

Bluetooth をオンにすると、過去にペアリングしたアクセサリー名が表示されます。

ペアリング一覧から接続または削除したいアクセサリー名を「▼/▲」キーで選択し「機能」キーを押します。接続するときは「機能」キーを押し、接続をキャンセルするときは再度「機能」キーを押します。削除するときは「機能」キーを長押しします。

ALINCO-eme80bma

機能キーで接続
機能長押で削除

■デュアルオペレーション ***

●動作設定 ***

デュアルオペレーション機能を使うかどうか選択します。
初期値はオフです。

オフ / オン

[動作設定]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●メイン CH 設定 ***

デュアルオペレーションで使用するメイン CH を設定します。
初期値は CH01 です。

CH01 ～ CH30/ 上空 S1 ～上空 S5

[メインCH設定]
CH01
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●サブ CH 設定 ***

デュアルオペレーションで使用するサブ CH を設定します。
初期値は CH02 です。

CH01 ～ CH30/ 上空 S1 ～上空 S5

[サブCH設定]
CH02
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **再開時間設定 *₊₊**

デュアルオペレーションで受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。
初期値は 5 秒です。

1 秒～ 10 秒　(1 秒ステップ)

[再開時間設定]
5秒
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **CH 切替間隔 *₊₊**

メイン CH とサブ CH の切替間隔を設定します。
初期値は 0.5 秒です。

0.5 秒～ 2.0 秒　(0.1 秒ステップ)

[CH切替間隔]
0.5秒
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

■緊急動作設定 *

● **受信の許可禁止 ***

緊急通信を受信するかどうか選択します。
初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]
禁止
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

● **警報音のみ ***

緊急動作の警報音を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ /1 秒～ 60 秒　(1 秒ステップ)

[警報音のみ]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**警報音＋発報 ***
緊急動作の警報音＋発報を何秒動作させるか設定します。
初期値は 30 秒です。

オフ /1 秒～ 60 秒 （1 秒ステップ）

[警報音＋発報]
30秒
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**発報のみ ***
緊急動作の発報を何秒動作させるか設定します。初期値はオフです。

オフ /1 秒～ 60 秒 （1 秒ステップ）

[発報のみ]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**音声送信 ***
緊急動作の音声送信を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ /1 秒～ 60 秒 （1 秒ステップ）

[音声送信]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**受信動作 ***
緊急動作の受信動作を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ /1 秒～ 60 秒 （1 秒ステップ）

[受信動作]
オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**繰り返し回数 ***
緊急動作を何回繰り返すか設定します。初期値は無制限です。

無制限/1 回～60回 （1 回ステップ）

[繰り返し回数]
無制限
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**再発報条件 ***

緊急動作後の再発報条件を設定します。
初期値は一度のみです。

一度のみ / 状態検出時 / 状態変化時

[再発報条件]
一度のみ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

●**警報音量 (内部) ＊＊＊**

内部スピーカーの警報音量を選択します。初期値は最大です。

ビープ音量と同じ / ボリューム連動 / レベル 1 〜レベル 4/ 最大

[警報音量(内部)]
最大
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

●**警報音量 (外部) ＊＊＊**

SP/MIC 端子から出力する警報音量を選択します。
初期値は最大 (イヤホン要注意) です。

ビープ音量と同じ / ボリューム連動 / レベル 1 〜レベル 4/
最大 (イヤホン要注意)

[警報音量(外部)]
最大(イヤホン要注意)
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

■ショックセンサー機能 *

●**動作モード ***

ショックセンサーの動作モードを設定します。振動検出モードの場合は「短縮」キーを押すと１０秒後に動作を開始します。
初期値はオフです。

[動作モード]
オフ
ー▼▲ー || ー戻るー
変更 || 完了

オフ / 転倒検出モード / 振動検出モード

●**検出方向 ***
転倒検出モードで検出する傾斜方向を設定します。初期値は前後＋左右です。

左右 / 上下 / 上下＋左右 / 前後 / 前後＋左右 / 上下＋前後 / 全方向

[検出方向]
前後＋左右
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**傾斜判定角度 ***
転倒検出モードで検出する傾斜角度を設定します。初期値は 70.1°です。

0.0°～ 90.0°

[傾斜判定角度]
70.1°
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**傾斜判定時間 ***
転倒検出モードで検出判定されるまでの時間を設定します。
初期値は 30 秒です。

0 秒～ 250 秒 （1 秒ステップ）

[傾斜判定時間]
30秒
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**衝撃判定強度 ***
振動検出モードで検出判定される衝撃の強さを設定します。
初期値は 0.11G です。

0.05G ～ 1.98G

[衝撃判定強度]
0.11G
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
変更 ‖ 完了

●**遠隔操作 ***
「PTT」キーを押して通信相手の振動検出モードを動作状態にする機能です。
通信相手がショックセンサーの動作モードを設定している必要があります。

[遠隔操作]
→PTTで警戒開始

■温度センサー機能 *

●温度表示 *

本機内部の温度を待受画面に表示させる機能です。
初期値はオフです。

オフ / オン

```
[温度表示]
          オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

●高温警報 *

本機内部の温度が設定値以上になったときに警報を鳴らす機能です。初期値はオフです。

オフ /-20℃以上～ +60℃以上
(5℃ステップ)

```
[高温警報]
          オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

●低温警報 *

本機内部の温度が設定値以下になったときに警報を鳴らす機能です。初期値はオフです。

オフ /-20℃以下～ +60℃以下
(5℃ステップ)

```
[低温警報]
          オフ
ー▼▲ー ‖ ー戻るー
 変更  ‖  完了
```

■機器情報

機種名、CSM 番号、シリアル番号を表示させる機能です。

```
[機器情報]
MODEL  DJ-DPS71
CSM   XXXXXXXXX
Ser.  XXXXXXXXX
```

PC 編集機能

別売の ERW-23（または ERW-7 ケーブルと EDS-14 変換ケーブル）と無償の専用編集ソフト（Clone Utility) を使えばチャンネル、各種コード、セットモードの編集、保存、書き込みや設定データの管理ができます。またリセットの禁止、ショートメッセージの内容変更やチャンネル番号の代わりに文字表示ができるなど、本体ではできないプログラミングが可能になります。
詳細は弊社ホームページをご覧ください。

https://www.alinco.co.jp/ ＞ 電子事業部 ＞ ダウンロード ＞
業務用無線機 (簡易無線・デジタルトランシーバー) ＞ DJ-DPS71

8 保守・参考

故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。
マイク類や電池類などが原因の不具合も有りますので、必ずアクセサリーも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原　因	処　置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。
スピーカーから音が出ない。受信できない。「ギャラギャラ」音が聞こえる。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。
	「PTT」キーが押され、送信状態になっている。	「PTT」キーを離す。
	秘話コードが一致していない。	秘話コードを一致させる、もしくは送信側と受信側の秘話キーを OFF にする。
受信中に表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
送信ができない。送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押して、インジケーターを赤く点灯させてから送信する。
	チャンネル（周波数）や通信設定が間違っている。	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる。
	別のユーザーがチャンネルを使用している。	信号がなくなるのを待ってから送信する。
	出力が低く、相手に届いていない。	送信出力を今の設定よりも大きくする。
送信ができない。送信すると、表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。

症状	原　因	処　置
チャンネル（周波数）が切替わらない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
表示が異常になっている。	CPU が誤動作している。	リセットする。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取る。
充電スタンドの赤色ランプが点滅する。	充電スタンドの保護回路が働いている。	バッテリーパック単体で充電する。充電時、無線機の電源を切る。

■ 無線機の状態に異常があるとエラー表示が出ます。故障を示すエラー表示もあります。その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧の上、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

■ 自動車やバイクなど比較的速い速度で移動する局との通信やアンテナが揺れるような状態で使用すると通話が安定しないことがあります。これは電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。

■ 秘話や個別・グループ呼出機能を使うと通話距離が若干短くなることがありますが、異常ではありません。

■ 採用している防水パッキンなどの部品には寿命があります。
メーカーによる IP68 相当の耐塵防水性能の保証期間は同梱の保証書と同じです。
外郭保護性能のメンテナンスに関するアフターサービスが必要な場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
最寄りの販売店の検索には、https://www.alinco.co.jp の「販売店のご案内」リンクをご利用ください。

■ 静電気が溜まりやすい場所や服装でイヤホンやイヤホンマイクを装着するとき、耳に静電気ショックを感じることがあります。ドアノブなどに触れて感じることがあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。

■ 磁気カード類を無線機に近づけないでください。
電磁波の影響でデータが消去される可能性があります。
補償いたしかねますので、ご注意ください。

メンテナンス

定期的に清掃とメンテナンスをすると長く衛生的にお使いになれます。

■ ボディとアンテナ
パソコンやデジタルカメラなどの精密機器の清掃器具は無線機にもお使いになれます。ブラシやブロアーでホコリを払い、除菌用ウエットティッシュ（湿りすぎていたら絞る）で手垢や汚れをふき取り、乾いた布で乾拭きしてください。電池端子部分はきれいな綿棒でぬぐいます。

■ 外部マイク類
ケーブルは汗や脂で劣化しやすくなります。湿った布やウエットティッシュで汚れを落として乾燥させます。イヤホンパッドやマイクスポンジは定期的に新品と交換してください。

安定して通話できる一番遠い場所を探して決めておき、定期的に通話チェックすると不具合や劣化に気付きやすくなります。リチウムイオンバッテリーは３年、長くても５年をめどにお買い換えください。古いリチウムイオンバッテリーは使用時間が短くなり、内部ショートによる発熱、発火のリスクが高くなります。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

■保証期間

同梱の保証書に記載されている期間です。
正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。
アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ　電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。
ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 5 年です。

■注意事項

- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りします。銘板を隠すシールや飾り類は修理の際､取り除くことがあります。
- 修理見積や保険用の証明書類の発行は、一部有償です。

9 オプション一覧

EBP-98	リチウムイオンバッテリーパック（7.2V 2200mAh）
EBP-99	リチウムイオンバッテリーパック（7.2V 3200mAh）
EDC-194A	EDH-43 接続用シガーケーブル
EDC-214R	シングル充電スタンド（連結仕様）
EDC-215	AC アダプター（1 台充電用）
EDC-188	AC アダプター（連結充電用）
EMS-62	IP54 相当スピーカーマイク
EMS-71	IP67 相当防水スピーカーマイク（イヤホンジャック無し）
EME-32A	カナル型イヤホンマイク (PTT ロック付）
EME-48A	耳かけ型イヤホンマイク (PTT ロック付）
EME-62A	咽喉マイク
EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット
EME-67B	耳かけ型イヤホン
EME-80BMA	Bluetooth 対応イヤホンマイク
EMS-87B	Bluetooth 対応 IP67 相当防水スピーカーマイク
EMS-514	IP67 防水スピーカーマイク
EDH-41	防水仕様 乾電池ケース
EDH-43	12V/24V 兼用外部電源アダプター
EHC-70	ハードケース
EA-248	ロングアンテナ
EA-247	ミドルアンテナ
EBC-46	ベルトクリップ
EBC-47	ステンレスベルトクリップ
EBC-50	フリーベルトクリップ
EBC-56	ショルダーベルト
EDS-14	2 ピン型マイクプラグ変換ケーブル
ERW-7	パソコン接続用ケーブル (EDS-14 も必要です）
ERW-23	パソコン接続用ケーブル (4 極）

【ご注意】

- 有線スピーカーマイクでは VOX 機能、PTT ホールド、ハンド以外の接客モードは使えません。ヘルメット用ヘッドセットはバイク用及び特殊形状のヘルメットには使えません。EDS-14 の 2 ピンプラグ連結部分は防水ではありません。
- 上記以外にも使用できるオプションのマイク類がありますが、レジャーやホビーユーザー向けの消耗品です。
  業務でお使いのときは、必ず上記の業務仕様をお求めください。頑丈なうえ、故障しても修理ができます。

■ EBP-98、EBP-99 は無線機に正しく装着された場合にのみ IP68 相当の耐塵防水保護が機能します。故障の原因に直結するので、単独の状態では絶対に水に濡らさないでください。

10 定格

■一般仕様

項目	仕様
送信周波数	351.20000 ~ 351.38125MHz　30ch
受信周波数	351.16875 ~ 351.38125MHz 30ch+5ch（上空用チャンネル S1 ~ S5）
電波型式	F1C F1D F1E F1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	7.2V
消費電流	2.0A 以下（送信時：5W) 1.2A 以下（送信時：2W) 0.9A 以下（送信時：1W) 500mA 以下（受信時) 150mA 以下（待受時：Bluetooth オン）
外形寸法（突起物除く） W × H × D	55.8 × 95.8 × 32.5mm EBP-98 装着時 55.8 × 95.8 × 40.7mm EBP-99 装着時
質量 （ミドルアンテナ装着時）	約 244g（EBP-98 装着時） 約 266g（EBP-99 装着時）
使用温度範囲	− 20℃～+ 60℃
送信出力	5W/2W/1W（偏差：+ 20%、− 50%）
変調方式	4 値 FSK
受信感度	− 5dB μ V EMF 以下 (BER1 × 10^{-2})
低周波出力（10%歪時）	700mW 以上

■参考

項目		
長さ	ミドルアンテナ　100mm ロングアンテナ　220mm	
充電時間 EBP-98(2200mAh) 装着時 EBP-99(3200mAh) 装着時	 約 3 時間 約 4 時間	
運用時間（*1）Bluetooth オン EBP-98(2200mAh) 装着時 EBP-99(3200mAh) 装着時	バッテリーセーブ有効時 約 15 時間 約 21 時間	バッテリーセーブ無効時 約 10.5 時間 約 15.5 時間

(*1）送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待受 90 の繰り返し。

11 付録

■設定初期値一覧表

* マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。
** マークが付いている項目は Bluetooth 未対応の項目です。

通信設定	
ユーザーコード	オフ
秘話コード	オフ
秘話タイプ	標準秘話
親機子機切替 *	親機

個別設定	
個別通信動作	オフ
通信相手選択	全局
自局 ID	001
自局グループ	01
個別呼出切替 *	オフ
グループ呼出切替 *	オフ
全局呼出切替 *	オフ
緊急相手選択 *	全局
直通相手選択 *	全局
▼ / ▲キー動作 *	チャンネル選択

録音機能 *	
録音データ一覧 *	-
録音動作設定 *	オフ
録音データ消去 *	-
録音停止時間 *	10 秒

ショートメッセージ機能 *	
受信メッセージ一覧 *	-
受信メッセージ消去 *	-
メッセージ送信 *	-
受信の許可禁止 *	禁止
受信時自動表示 *	オン

送信設定	
送信出力	5W
内部マイク感度 **	0dB
外部マイク感度	0dB
緊急時マイク感度 ***	0dB
PTT ホールド *	オフ
コールバック ***	オフ
VOX 動作設定 *	オフ
VOX 時の内蔵マイク *	外部マイク使用時 OFF
VOX 動作レベル *	4
ノイズキャンセル機能 **	オフ
ノイズ抑制機能 *	オン
トーン抑制機能 *	オフ

受信設定	
音量一定化	オフ
低音域抑制	オフ
高音域抑制	オフ
対象外受信 *	オフ
スケルチ *	5
受信ゲイン *	ゲイン 5

通知 / 警告設定	
ベル機能	オフ
ベルの音色 ***	1
音声ガイダンス	全て
減電池警告 *	1 回のみ
送信制限警告 *	オン
受信低下通知	オフ
イヤホン断線検出	オフ
ビジーアラーム	オフ

表示設定	
バックライトタイマー	5 秒
コントラスト *	8
CH 非表示	オフ
周波数表示 *	オフ
S メーター表示 *	オフ
受信レベル表示 *	標準

操作音設定	
ビープ音量 **	レベル 2
PTT ビープ	低音レベル 2
エンドピー	低音レベル 2

電源設定	
バッテリーセーブ	オフ
オートパワーオフ *	オフ

各種動作設定	
上空用 CH 受信 *	オフ
CH 通信設定 *	全ての CH で共通設定
プライベート CH 設定	CH01
短縮キー動作	オフ
サブ PTT 出力	1 W
スキャンタイプ *	ビジー
スキャン CH 設定 *	スキャン（全 CH）
外部音量設定 **	音量中
音量の調整方法	ボリューム連動
固定音量レベル **	16
最大音量レベル ***	32
最小音量レベル ***	0
接客モード	オフ
接客ボイス感度	4
接客タッチ感度 **	標準
接客復帰時間	15 秒
接客ボイス保持	3 秒
Bluetooth	オン
ペアリング一覧	-

デュアルオペレーション ***	
動作設定 ***	オフ
メイン CH 設定 ***	CH01
サブ CH 設定 ***	CH02
再開時間設定 ***	5 秒
CH 切替感覚 ***	0.5 秒

緊急動作設定 *	
受信の許可禁止 *	禁止
警報音のみ *	オフ
警報音 + 発報 *	30 秒
発報のみ *	オフ
音声送信 *	オフ
受信動作 *	オフ
繰り返し回数 *	無制限
再発報条件 *	一度のみ
警報音量（内部）***	最大
警報音量（外部）***	最大（イヤホン要注意）

ショックセンサー機能 *	
動作モード *	オフ
検出方向 *	前後 + 左右
傾斜判定角度 *	70.1°
傾斜判定時間 *	30 秒
衝撃判定強度 *	0.11G
遠隔操作 *	-

温度センサー機能 *	
温度表示 *	オフ
高温警報 *	オフ
低温警報 *	オフ

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
■本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
■乱丁・落丁はお取り替え致します。

ALINCO アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／ 10:00 ～ 17:00 月曜～金曜（祝祭日及び 12:00 ～ 13:00 は除きます）
ホームページ https://www.alinco.co.jp/「電子事業」をご覧ください。
本製品の機種名は DJ-DPS71 です。製造番号や CSM 番号はバッテリーパックを外すとご覧になれます。

PS0996B
FNFE-NE